

## 各ワーキンググループ報告

### 1. NIPPON DATA2020 実行ワーキンググループ 報告

- 研究代表者 三浦 克之（滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授（リーダー））  
研究分担者 岡村 智教（慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学 教授（サブリーダー））  
研究分担者 岡山 明（合同会社生活習慣病予防研究センター 代表）  
研究分担者 尾島 俊之（浜松医科大学医学部健康社会医学講座 教授）  
研究分担者 大久保孝義（帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座 教授）  
研究分担者 門田 文（滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 准教授）  
研究分担者 西 信雄（国立健康・栄養研究所国際栄養情報センター センター長）  
研究分担者 由田 克士（大阪市立大学大学院生活科学研究科食・健康科学講座公衆栄養学 教授）  
研究協力者 宮松 直美（滋賀医科大学看護学科成人看護学講座 教授）  
研究協力者 志摩 梓（滋賀医科大学看護学科成人看護学講座 客員准教授）  
研究協力者 森野 亜弓（滋賀医科大学看護学科成人看護学講座 客員助教）  
研究協力者 中村美詠子（浜松医科大学健康社会医学講座 准教授）  
研究協力者 平田 あや（慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室 助教）  
研究協力者 近藤 慶子（滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 助教）  
研究協力者 岡見 雪子（滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 特任助教）  
研究協力者 北岡かおり（滋賀医科大学博士課程 大学院生）

\*他 全国体制資料に掲載

#### 1. 背景と目的

健康日本 21（第 2 次）の重要課題である健康格差の是正のために、地域格差や世代間格差の抽出が必要である。また、わが国の循環器疾患等生活習慣病予防対策立案には、国民の代表集団である国民健康・栄養調査および循環器疾患基礎調査対象集団を長期間追跡するコホート研究を実施し、刻々と変化する日本国民特有のライフスタイルや社会環境における生活習慣病リスク要因を明らかにする必要がある。

国民健康・栄養調査は、全ての都道府県を網羅する国内唯一の調査である。2020 年（令和 2 年）国民健康・栄養調査は拡大調査年であり、通常の 3 倍規模（約 1 万人）の調査が予定されている。より大規模な最新の国民集団の長期コホート研究 NIPPON DATA2020 を開始することにより、日本国民の新たな生活習慣病リスク要因や地域格差を明らかにし、予防施策の優先順位を提案することができる。

我々は 1980/1990/2010 年国民健康・栄養調査および循環器疾患基礎調査の対象集団、計約 2 万人のコホート研究 NIPPON DATA80/90/2010 の長期追跡研究を継続してきた。1980 年から 2020 年まで 40 年間の国民代表集団のライフスタイルの変化とその生活習

慣病への影響の大きさの変化の知見から、次期国民健康づくり運動策定における優先的課題に関する提言が可能となる。

## 2. NIPPON DATA2020 実施計画概要

国民健康・栄養調査の拡大調査年である2020年10-11月に全国約500カ所で実施される国民健康・栄養調査の参加者約1万人を対象としたコホート研究NIPPON DATA2020を構築し、長期追跡を開始する。国民健康・栄養調査当日、各調査会場に調査員を派遣し、研究の主旨を説明して研究への参加同意（生活習慣等の調査票、血液・尿検体の凍結保存、長期追跡など）を取得する。

NIPPON DATA2020実施に向けて、①生活習慣等に関する調査票内容の検討、②血液・尿検体測定項目・採取/保存方法の検討、③追跡同意取得・アウトカムについて内容および方法の検討、④調査を円滑に実施するための全国体制の確立、が必要である。

## 3. 三年間の活動

三年間かけて、厚生労働省、全国保健所長会などの関係機関と協議のうえ、①新型たばこを含めた生活習慣等に関する問診調査票の作成、②血液・尿検体測定項目・採取/保存方法の検討、③追跡同意取得・アウトカム取得方法の検討を行い、調査方法を確立した。また、全国保健所長会や全国都道府県の国民健康・栄養調査担当部局など関係各方面と調整を行い、全国の都道府県より調査の内諾を得た。また、予防医学事業中央会およびその支部を中心とした健診機関より調査実施協力の内諾を得て、全国調査実施の体制構築をした。しかし、COVID-19感染症の流行により全国保健所の負担が大きく、感染症予防の観点からも2020年国民健康・栄養調査が中止されたことから、NIPPON DATA2020調査も中止する事となった。

### ① 生活習慣等に関する問診調査票

問診調査票作成にあたり、平成22年に我々が実施したNIPPON DATA2010の調査票項目や国民健康・栄養調査、国民生活基礎調査等の調査票項目の他、今日的な健康課題を意識した新規調査票項目案等、合計84問を列挙し、デルファイ法による調査項目の優先順位づけ（二回）や、全国のNIPPON DATA研究の研究協力者を交えたNIPPON DATA2010実施に向けてのワークショップ（平成31年2月2日東京開催）を行った。そして、令和2年国民健康・栄養調査の生活習慣調査票の内容内容が重複せぬよう確認のうえ、合計37問（大問）の研究班調査票を最終確定した。

## ② 血液・尿検体測定項目・採取/保存方法

### ・血液検体

本研究は、対象者の負担を考慮して独自の採決は行わず、国民健康・栄養調査の残血液検体を凍結保存する。将来、凍結保管された検体を用いて循環器疾患等に関連する項目を測定する事とした。

現在、全国8割以上の自治体が株式会社SRLに国民健康・栄養調査血液検査項目測定を委託している事から、株式会社SRLに協力を依頼し、国民健康・栄養調査の残血液検体の授受の方法等について打合せを行った。自治体の多くは、例年、8月頃に検査委託先を決定されている。委託先が決定され次第、株式会社SRL以外の検査機関にも協力を依頼する事とした。

### ・尿検体

測定予定項目：Na, K, Cl, Cre, 蛋白

上記項目を測定後、残尿検体を凍結保管する。

検体採取方法等について、検査機関(株式会社SRL, ヘルスケアシステムズ)と協議した結果、下記の二案を採用する事とした。

- (1) 調査会場で採尿容器を配布、参加同意者が自宅で採尿し、検体を郵便で送付
- (2) 調査会場で採尿容器を配布、会場で採尿、回収した検体を郵便で送付

## ③ 追跡同意取得・アウトカム

アウトカム、追跡方法について議論を行った。結果、本研究参加者のその後の健康状態（循環器疾患等生活習慣病の発症、日常生活活動能力(ADL, QOL)、要介護度を含む）を以下の方法を用いて追跡する事とした。

1. 研究参加者へ年1回程度の郵便あるいは電話等を用いて健康状態の追跡を行う（質問項目は、高血圧や糖尿病、高脂血症等の服薬・治療状況や脳卒中・心筋梗塞等の生活習慣病の発症および治療状況、日常生活活動度等を含む）。
2. 研究参加者が脳卒中・心筋梗塞等の生活習慣病を発症した場合等は、医療記録閲覧・照会、(仮称)循環器疾患登録、がん登録、要介護認定情報等の情報と照合し、本研究のイベント発症定義（診断基準）に合致するかを判定する。
3. 市町村等への住民票請求による生死および転出の追跡を行う。死亡者については、人口動態統計の二次利用申請を行い、人口動態統計の原死因等を用いて死因等の把握を行う。

#### ④ 全国調査実施体制の確立

##### ・全国保健所長会、都道府県への協力依頼

本研究は令和2年国民健康・栄養調査に平行して実施するため、同調査の実施母体となる全国の自治体との連携が必須である。初年度から全国保健所長会理事会にて研究班調査の趣旨を説明し、協力の内諾を得た。

自治体との協働を担う全国の研究協力者（地区担当者）と会議を持ち、自治体との連携、調査実施体制について議論した（令和2年1月31日東京開催）。また、全国都道府県の国民健康・栄養調査担当部局に各自治体の国民健康・栄養調査に関する問い合わせ（担当者連絡先、血液検査委託機関、令和2年県民調査実施予定の有無等）を行った。その情報に基づき、各都道府県において、地区担当者から国民健康・栄養調査担当部局への趣旨説明、協力依頼を行い、全国の都道府県より調査協力の事前内諾を得た。当時、令和2年国民健康・栄養調査地区は未確定であったが、毎年、国民健康・栄養調査地区に該当する一部の保健所設置市からも、同様に協力依頼を行い、事前内諾を得た。

##### ・全国の健診機関等への協力依頼

本研究は令和2年国民健康・栄養調査の会場に研究班調査員を派遣する計画であった。同調査は10月-11月の短期間に全国約500地区で一斉に実施されるため、研究班調査員の事前確保が極めて重要であった。全国34都道府県に支部を持つ予防医学事業中央会に研究の趣旨を説明し、研究協力（調査実施委託）の承諾を得た。それに引き続き全国の支部に協力を依頼した。また、同会支部のない都道府県については、他の健診機関等に協力を依頼し、全ての調査地区に研究班調査員を派遣できる体制を整えた。

##### ・調査実施体制の整備

令和2年国民健康・栄養調査は10月-11月の短期間に全国約500地区で一斉に実施される予定であった。調査を円滑に実施するために、調査日程・会場・調査員等の情報管理体制、調査当日の連絡体制等のITを活用したシステムを整備した。また、調査を円滑に実施に加えて精度向上のため、研究班調査員向けに、IC取得方法を含めた調査実施マニュアル、調査員研修会の資料等を作成した。

#### 4. 今後の課題

3年間かけて調査実施方法、全国調査の実施体制構築、等、調査準備を整える事ができたが、COVID-19感染症の流行により、調査を中止する事となった。コロナウイルス蔓延に

より国民のライフスタイルは大きく変化し、健康格差のさらなる拡大が懸念される。今後も全国調査等で、国民の現状を明らかにするとともに、健康格差の要因を探求する必要がある。今後、ウィズ・コロナ時代・デジタル化時代における健康調査等のあり方について、早急に検討が必要である。

全国調査 NIPPON DATA2020 の実施に向けて、多大な御協力を頂いた全国保健所長会、各都道府県、保健所設置市、公益財団法人予防医学事業中央会、各健診機関、検査機関、全国の研究班協力者、皆々様に深謝申し上げます。

**【滋賀医科大学 NIPPON DATA2020 事務局】**

吉田稔美、船木彰子、島村幾代、大原操、鳥居正恵、和氣宗、北岡かおり、岡見雪子、近藤慶子、森野亜弓、志摩梓、宮松直美、門田文、三浦克之

資料 1. NIPPON DATA2020 研究計画書・説明文書・同意書/同意撤回書

資料 2. 生活習慣に関する問診票・デルファイ法結果

資料 3. NIPPON DATA2020 調査協力依頼文書（自治体用、健診機関用）

資料 4. NIPPON DATA2020 実施体制資料

（含：協力を内諾頂いた健診機関のリスト、全国の研究班協力者リスト）

資料 5. NIPPON DATA2020 中止文書（自治体用、健診機関用）

(資料1)

研究課題名： 2020年国民健康・栄養調査対象者の追跡研究

NIPPON DATA2020

研究計画書

研究責任者： 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授 三浦 克之

第 1.1 版 2020 年 4 月 2 日 作成

## 研究責任者及び研究組織

### 研究代表者

三浦 克之 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授

### 本学研究分担者

上島 弘嗣 滋賀医科大学アジア疫学研究センター 特任教授

門田 文 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 准教授

近藤 慶子 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 助教

岡見 雪子 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 特任助教

宮松 直美 滋賀医科大学臨床看護学講座 教授

田中 佐智子 滋賀医科大学社会医学講座医療統計学部門 准教授

和氣 宗 滋賀医科大学医学系研究科博士課程

北岡 かおり 滋賀医科大学医学系研究科博士課程

岡村 智教 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 客員教授

岡山 明 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 客員教授

大久保孝義 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 客員教授

奥田奈賀子 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 客員教授

喜多 義邦 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 客員教授

中村 保幸 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 客員教授

高嶋 直敬 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 客員准教授

志摩 梓 滋賀医科大学臨床看護学講座 客員准教授

### NIPPON DATA2020 研究事務局

事務局長 門田 文

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学 アジア疫学研究センター内 NIPPON DATA2020 研究事務局

電話 077-548-2476 FAX 077-543-4800

### 共同研究機関・研究協力機関(別添1)

## 1. 研究の目的及び意義

健康日本 21(第 2 次)の重要課題である健康格差(地域格差や世代間格差)を是正し、また、わが国の循環器疾患等生活習慣病予防対策を立案するためには、国民の代表集団を長期間追跡するコホート研究を実施し、刻々と変化する日本国民特有のライフスタイルや社会環境における生活習慣病リスク要因を明らかにする必要がある。そのため、当研究班は 1980/1990 年循環器疾患基礎調査および平成 22 年(2010 年)国民健康・栄養調査の対象集団、計 2 万人超の長期コホート研究 NIPPON DATA80/90/2010 を厚労省指定研究として継続してきた。その成果は健康日本 21、標準的な健診・保健指導プログラム、各種学会ガイドライン作成等活用されている。

国民健康・栄養調査は、全ての都道府県を網羅する国内唯一の調査である。令和 2 年(2020 年)国民健康・栄養調査は拡大調査年であり、通常の 3 倍規模(約 1 万人)の調査が予定されている。本研究は、同調査の参加者を対象として大規模かつ最新の国民集団の長期コホート研究 NIPPON DATA2020 を開始し、日本国民の新たな生活習慣病リスク要因や健康格差を明らかにし、予防施策の優先順位を提案することを目的とする。NIPPON DATA2020 の実施により、次期国民健康づくり運動策定における優先的課題に関する提言が可能となる。

## 2. 研究方法

本研究では、全国 475 地区において令和 2 年国民健康・栄養調査に参加する 20 歳以上の成人男女を対象として、循環器ならびに生活習慣病関連の調査を令和 2 年国民健康・栄養調査実施時に並行して実施する。そして、対象者の調査後の健康状態(脳卒中、心筋梗塞、心不全、糖尿病、腎臓疾患、高血圧、脂質異常症、各種がんの発症、日常生活活動能力(ADL,QOL)、要介護度、生死と死因を含む)を最長 30 年の長期間にわたり追跡調査する。

### (1) 対象者

2020 年 10-11 月に全国 475 地区で実施される国民健康・栄養調査に参加する 20 歳以上の男女約 1 万人\*。悉皆性を担保するために、本調査の趣旨、方法、利益と不利益を理解した上で、本研究で使用する同意書に参加の意思を表明した全員を本研究の対象者とする。

参考:平成 28 年国民健康・栄養調査(拡大調査年)血液検査実績:全国計 11,391 人

\*: 同意率を 80%と仮定した人数

### (2) ベースライン調査

#### ① 実施時期

2020 年 10-11 月

全国 475 地区の令和 2 年国民健康・栄養調査の実施日に国民健康・栄養調査と同時に実施する。

#### ② 実施場所

全国 475 地区

国民健康・栄養調査の各調査地区 10-30 人程度(最大 50 世帯の成人)

### ③ 本調査は以下の項目について問診・検査等を行う

1. 健康状態や生活習慣等に関する質問票(自記式)(別添2)
2. 尿検査(ナトリウム、カリウム、クレアチニン、蛋白)、残尿検体は、凍結保存する。
3. 国民健康・栄養調査の残血液検体を凍結保存する(追加採血や余分な採血は行わない)。

なお、上記、問診内容や血液検体の測定項目については国民健康・栄養調査の調査項目と重複しないよう留意する。

凍結保管した血液検体・尿検体は、メタボローム等、循環器疾患を中心とした健康状態に関連する項目を測定する。測定に際しては、滋賀医科大学の倫理審査委員会に諮り、オプトアウトを実施する。なお、本研究は、遺伝情報を一切扱わない。

### ④ 調査員の配置ならび調査員の研修会実施について

研究班と守秘義務等に関する契約書をかかわした健診機関等に調査を委託する(各調査地区 2 名程度を予定している)。研究班より委託した健診機関の職員等は研究班の調査員として調査にあたる。調査員は研究班が行う研修会を終了した者とし、本研究の趣旨説明、同意取得、問診、等を行う。なお、上記の調査員が不足する場合は、研究班が行う研修会を終了した本学の分担研究者、研究協力者および共同研究機関の者(研究協力者を含む)が調査にあたるものとする。

### ⑤ 都道府県・保健所設置市・特別区との連携

本研究調査の対象者は国民健康・栄養調査の参加者である。各調査場所の設定は都道府県・保健所設置市・特別区(担当保健所)(以下、実施母体)が行うため、国民健康・栄養調査と本調査の同時実施のための調整を担当保健所と十分に連携・協力して進める。実施母体への本調査の意義や実施内容詳細の説明等は、本研究班中央事務局(滋賀医科大学)が中心となり、本学の分担研究者、研究協力者、共同研究機関の者が行う。なお、協力が得られた実施母体と滋賀医科大学との覚書を交わす(別添3)。

### ⑥ データの取り扱いおよび結果返しについて

本研究対象者に対して、調査実施後、今後の健康作りに役立てていただけるように、尿検査結果および生活習慣に関するアドバイス等を研究班より送付する。検査結果について研究対象者等からの相談等があった場合は、必要に応じて医療機関への紹介(情報提供)等の対応を行う。なお、国民健康・栄養調査の実施母体が本研究で実施するベースライン調査の結果提供を依頼した場合は、顕名または匿名で個人データを提供する。

### ⑦ 業務委託

別添4に示す機関にベースライン調査に関する業務を委託する。業務委託の際は、委託業務内容、安全管理措置および守秘義務を明記した委託契約書(別添5)をかかわす。

### (3) 国民健康・栄養調査結果との結合

令和2年国民健康・栄養調査の実施項目(生活習慣等に関する質問票、栄養調査、血液検査等)については、後日、厚生労働省に利用申請を行う。あらかじめ本研究調査のベースライン調査時に、実施母体より国民健康・

栄養調査の ID 情報(世帯番号・世帯員番号・検体番号)の提供を受けて、国民健康・栄養調査の結果と本研究調査のベースライン調査結果を結合し、データベースを作成する。

#### (4) 追跡調査の方法および追跡期間

本研究対象者のその後の健康状態(脳卒中、心筋梗塞、心不全、糖尿病、腎臓疾患、高血圧、脂質異常症、各種がんの発症、日常生活活動能力(ADL,QOL)、要介護度、生死と死因を含む)を、以下の方法を用いて最長30年間追跡調査する。

1. 年1回程度、郵便あるいは電話等を用いて、研究対象者の健康状態調査を行う(質問項目は、高血圧や糖尿病、脂質異常症等の服薬・治療状況や脳卒中・心筋梗塞等の生活習慣病の発症および治療状況、日常生活活動度等を含む)。脳卒中・心筋梗塞等の生活習慣病の発症が疑われる場合は、医療記録の閲覧・照会による情報と照合し、本研究のイベント発症定義(診断基準)に合致するかを判定する。
2. 健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法(以下、循環器疾患対策基本法)によって実施が検討されている循環器疾患登録、がん登録等の推進に関する法律に基づく全国がん登録、要介護認定等の情報と照合し、本研究のイベント発症定義(診断基準)に合致するかを判定する。
3. 市町村への住民票請求を行い、生死および転出の追跡調査を行う。死亡者については、人口動態統計の利用申請を行い、人口動態統計の原死因等を用いて死因等の把握を行う。

### 3. 倫理的配慮

本研究計画は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って作成される。本研究は「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づき、調査対象者に文書による説明を行い、研究参加同意を得る。また滋賀医科大学倫理委員会に申請し承認を得る。

### 4. インフォームドコンセント

研究班はインフォームドコンセントに関する研修を実施し、研修を終了した委託健診機関の職員、研究分担者・研究協力者・共同研究機関の者がインフォームドコンセントを行う。委託健診機関の職員は健診機関より研究班に対して守秘義務等を含む契約書(別添5)を、研究分担者・研究協力者・共同研究機関の者は、研究責任者に対して守秘義務等の誓約書(別添6)を、提出するものとする。

本研究の調査員は本研究の対象者に本研究の目的を説明し、研究への参加同意を書面にて取得する。同意取得の際は研究協力の任意性についての説明も行う。追跡調査(2.(4)に記載)のうち、本人とコンタクトを取らずに統計情報を用いて行う調査については、特別の理由(データ使用に関する不信感を持っている場合など)がない限り実施する。一方、本人とコンタクトを取り実施する調査については、同意撤回の申し出があった場合は調査を中止することを説明する。研究説明書、同意書および同意撤回書は別紙に定める。

### 5. 個人情報の保護・試料・情報の保管および廃棄

### (1) 情報・試料の保管方法

ベースライン調査の情報、尿検査、国民健康・栄養調査、保存した試料の測定によって付加された情報及び血液・尿試料等は匿名化した上で保管・管理する。これらの情報・試料等に、研究対象者への郵送調査、住民票、全国がん登録等を含む追跡情報を付加することができるように、対応表を作成するが、対応表は情報・試料とは別に保管管理する。また、特定の個人を識別することが可能な個人情報とこれらの情報・試料との対応表は滋賀医科大学が保有または契約したサーバー内で保管する。特定の個人を識別することが可能な個人識別情報は追跡終了後に、電子媒体によるもの、紙媒体等によるものを問わず復元不可能な形で破棄を行う。

### (2) 情報の保管媒体・試料の安全管理方法

全ての電子データは外部から隔離された滋賀医科大学が保有または契約するサーバーにて保管する。データの保管に用いるサーバーはアクセスコントロール及びアクセス記録を常時行い、インターネット等から隔離されていないなければならない。また本研究に関する情報を保管している区画は、研究代表者等(研究代表者が指名した者を含む)のみがアクセスできること、適切なバックアップの設定を行う。またサーバー等にアクセスを行うクライアント PC 等もサーバーシステムから管理を行い、USB メモリー等の使用制限等の管理を行う。またこれらの管理が適正に行われていることについて研究代表者あるいは研究代表者が指名した者が定期的にシステムログ及びアクセス記録等の確認を行う。落雷、火災等によるサーバーシステム全体の障害によるデータ損傷を避けるために、サーバーシステムとは接続されていない記録媒体等に定期的にバックアップを取るが、これらのバックアップ情報を記録した機器等は管理番号を設置し滋賀医科大学内の施錠管理が行える施設内の施錠管理ができる保管庫内に保管する。

同意書その他の紙媒体の情報については、電子化した上で、保管するとともに、原本は滋賀医科大学内の施錠できる施設の施錠が可能な保管庫内で厳重に管理する。

尿及び血液試料は、入退室管理が行われている、滋賀医科大学内のアジア疫学研究センターおよびヒューマンサンプル室内の超低温冷凍庫等で管理する。なおこれらの検体についても対応表を作成したうえで、匿名して管理する。

### (3) 共同研究機関への匿名化データの提供

本研究の共同研究機関へ提供するデータには、匿名化したうえで提供し、提供先、提供先の研究責任者氏名、提供データの概要等に関する倫理指針に従って記録を作成する。

### (4) 研究参加同意撤回

研究事務局に参加同意撤回の旨の申し出があった場合は、必要な内容について書面で、中央事務局へ提出していただく。本研究の全ての調査について同意撤回された場合は、①名前、住所等の個人が特定できる情報を廃棄する。②データ・試料の保存・使用について同意撤回された場合は、これらを(5)に準じて廃棄する。(ただし、参加同意撤回の意志が文書で中央事務局に提出された時点ですでに匿名化されたデータは除く。)

### (5) 情報・試料の廃棄

本研究で得られた情報(文書、数値データなど)の保存期間は、原則として研究終了後 10 年とする。また、試

料は研究終了後に廃棄する。情報及び試料は以下に示す通り、適正に廃棄する。情報を記録した紙媒体等は、シュレッダーまたは個人情報保護に関する契約を結んだ業者に対して、密封した容器内に紙媒体等を入れ溶解再生処理等を依頼する。情報を記録した電磁記録媒体等は、HDD については国際基準に基づいて全領域への複数回のデータ書き込み等を行う。そのほかの記憶媒体及び、廃棄する HDD については、暗号化されたものについては暗号化キーの破棄あるいは、物理的に破壊する等の方法でデータの回復が不可能な方法で消去する。故障および耐用期間が終了した電磁記録媒体等については上記破棄に準じた方法で個人情報を消去するものとする。

試料については複数の個人の試料や薬品等と混合するなど、特定個人の試料を特定分離できない形で医療廃棄物とする適正に処分する。

## 6. 予想される危険性・問題への対応

本研究は対象者の国民健康・栄養調査で採取する血液の残検体を用いて、将来、血液検査項目測定を行う。本研究による採血は行わない。身体的侵襲性はない。

本研究では特定の個人が識別可能な個人情報及び要配慮個人情報を含む情報を扱うため、情報漏洩の可能性が生じる。これらの情報の管理は本研究計画書に従い、情報管理を行い、特に要配慮個人情報に相当する情報は匿名化した上で保管することで、万が一の情報漏洩等によっても漏洩した情報から個人が特定される危険性を極力、低くなるように管理する。

## 7. 研究成果の公表等

本研究は追加問診・検査項目及び国民健康・栄養調査より提供されたすべての問診・検査項目の相互の関係について、あるいはそれらと追跡調査による循環器疾患等の生活習慣病の発症、死因、ADL 低下等の項目との関係についてのすべての組み合わせにおいて関連を検討する。また、これらの内容について個人が特定できない形で学術雑誌、学会等においてこれらを発表、報告を行う。研究成果については厚生労働省等の研究支援機関にも提供を行い国民の健康および福祉の向上のために有効に活用を行っていく。またこの内容に関しては年一回程度発行を予定しているニュースレターやホームページ等で公表し研究対象者に研究成果を還元する。

## 8. 今後の共同研究等

本研究実施中に本研究で収集した試料および情報を他の研究に用いる可能性がある。本研究実施期間中に他の研究に提供する際には、本研究計画書に当該研究への提供に関する追記し、倫理審査委員会に変更申請し承認を得る。インフォームド・コンセントの手続きについては、当該研究用のオプトアウト文書を本研究ホームページ (<https://shiga-publichealth.jp/nippon-data/>) に掲載し、対象者に試料および情報の利用の取り止めの機会を提供する。

## 9. 費用負担

厚生労働行政推進調査事業費補助金循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業「新旧（1980-2020年）のライフスタイルからみた国民代表集団大規模コホート研究：NIPPON DATA80/90/2010/2020（H30－循環器等－指定－002）」等の研究資金によって実施する。研究対象者自身の費用負担は発生しない（令和2年国民健康・栄養調査会場への移動費は、研究対象者の自己負担）。

#### 10. 知的所有権に関する事項

本研究により知的所有権が生じた場合は、その権利は本研究班に属し、研究参加者には属さない。

#### 11. 研究期間・報告

滋賀医科大学倫理委員会承認後より開始とし、追跡期間は2050年3月までを予定している。研究期間中、本学の倫理委員会にて定められた方法・内容をもって、研究の進捗報告を行う。この研究計画は研究費の受け入れ状況、社会的状況などを勘案しつつ5年を置かない期間で一度、見直しを行うものとする。この研究計画内容及び同意内容を逸脱する変更については倫理委員会に諮り、研究広報ホームページおよび参加者レター等で研究協力者に周知を行う。

#### 12. 研究計画書等の開示

本研究の参加者は、希望する場合に研究計画の内容を見ることができる。

以上

# 2020 年国民健康・栄養調査対象者の追跡研究

## NIPPON DATA2020

(ニッポンデータ 2020)

### 説明文書

- これは研究への参加についての「説明文書」です。
- この研究は、日本における脳卒中、心筋梗塞、心不全などの循環器疾患や生活習慣病の有効な予防方法を明らかにするための重要な研究です。
- この研究では、代表機関である滋賀医科大学の倫理審査委員会において承認を得て実施しています。
- 調査員の説明やこの説明文書の中で、わからないことやご心配なことなどがありましたら、どんなことでも遠慮なくお尋ねください。

厚生労働省指定研究 ニッポンデータ研究班

研究代表者：三浦 克之

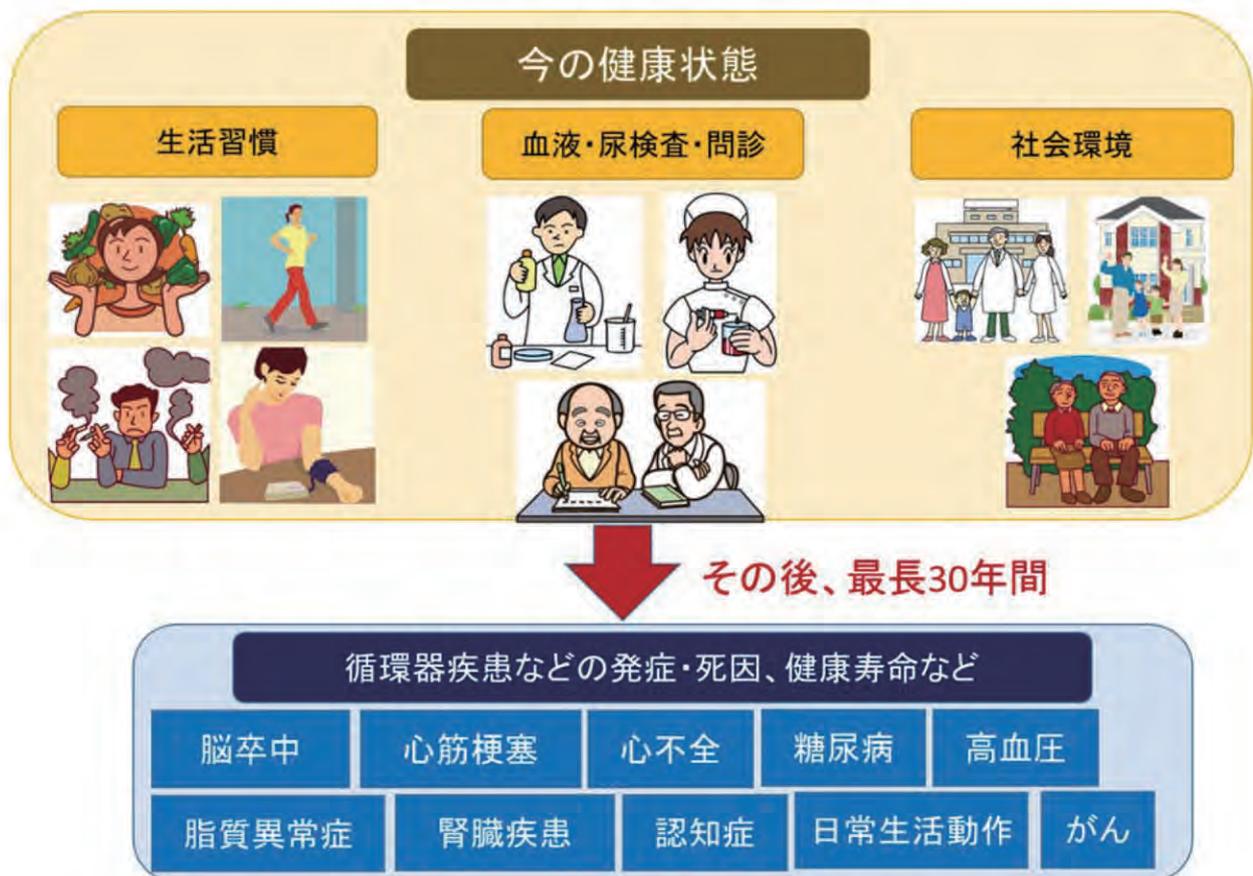
(滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門教授/アジア疫学研究センター長)

NIPPON DATA2020 事務局：滋賀医科大学（アジア疫学研究センター）

第 2.0 版 2020 年 4 月 28 日作成

## 1. 研究の概要（背景、目的、対象者、期間、資金と利益相反）

- **背景**：日本では脳卒中、心筋梗塞、心不全などの循環器疾患を毎年多くの方が発症しています。これらの病気は日常生活や生命に大きな影響を与えるため、循環器疾患の予防対策はたいへん重要です。循環器疾患の発症には食事や嗜好品、運動などの生活習慣や社会環境、高血圧・糖尿病・脂質異常症といった生活習慣病が大きく関係しており、生活習慣病改善や健診などによる生活習慣病の予防・早期発見が大切です。
- **目的**：現代の日本人における生活習慣（食事・運動など）や社会環境が将来の循環器疾患や生活習慣病にどう影響するかを明らかにすることです。



- **対象者**：令和2年国民健康・栄養調査の対象者（全国より無作為に選ばれた475地区にお住まいの男女約1万人）のうち、以下の2基準を満たした方
  1. 令和2年国民健康・栄養調査の血液検査対象者（20歳以上）
  2. 本研究への参加について、同意書への署名により同意が得られる方
- **この研究の予定期間**
  - ・研究参加開始日：令和2年国民健康・栄養調査の血液検査実施日（2020年10～11月）
  - ・追跡期間：最長2050年3月まで（ただし、研究費の受け入れ状況、社会的状況などを勘案しつつ5年を置かない期間で見直しを行うため、短縮する可能性があります）。
- **研究資金と利益相反**

厚生労働行政推進研究事業費補助金循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業「新旧（1980-2020年）のライフスタイルからみた国民代表集団大規模コホート研究：NIPPON DATA80/90/2010/2020（H30—循環器等—指定—002）」の研究資金によって実施します。厚生労働省実施の国民健康・栄養調査と共同で実施します。しかし、この研究に係る利益相反および個人の収益等はありません。

## 2. 研究の方法

### 1) 本日、ご協力頂きたいこと

#### ① アンケート調査(生活習慣、病歴、日常生活動作など)

・アンケート調査にご協力ください（10～15分ほど）。

#### ② 尿検査

・尿は自宅で採取したものを検査機関へ直接送付いただきます。本日より1週間以内を目途にお送りください（送付がなかった場合、後日ご連絡させて頂く場合がございます）。その後、ナトリウム、カリウム、クレアチニン、蛋白を測定し、残りの尿は滋賀医科大学で凍結保存します。

★後日、尿検査の結果をお送りいたします。

### 2) 今後、ご協力頂きたいこと

#### ③ 健康状態の追跡調査

● 年一回程度、皆様の健康状態（脳卒中、心筋梗塞、心不全、糖尿病、腎臓疾患、高血圧、脂質異常症、各種がんの発症、日常生活動作、要介護度、死因など）や受診中の医療機関や服薬等について研究班から郵便やお電話でお尋ねしますので、研究にご協力ください。

● 上記の問い合わせの結果に基づいて、研究班より皆さまが受診された医療機関の診療録閲覧あるいは治療のまとめ等の写しの請求、病名等の照会をさせていただきます（あなたへのご負担はありません）。

### 3) 今後、研究班が行うこと（あなたへのご負担はありません。）

#### ④ 国民健康・栄養調査結果の共有

法律に基づいて、厚生労働省に本日の国民健康・栄養調査結果の使用申請を行います。これらの結果と将来の循環器疾患との関連について検討いたします。

#### ⑤ 血液の保存と追加検査

本日、国民健康・栄養調査にて採取した血液の残りを滋賀医科大学で凍結保存し、追加項目の測定をします。血液の残りを利用しますので、余分な採血や再度の採血は行いません。現時点では、具体的な追加測定項目は決まっていますが、計画が整い研究資金が確保できた段階で、メタボローム等、循環器疾患を中心とした健康状態に関連する項目を測定する予定です。決まり次第、内容についてNIPPON DATA ホームページ上で情報公開いたします。

#### ⑥ 統計情報を用いた追跡調査

● 今のあなたの生活習慣や健康状態が今後の循環器疾患などの発症・死因、健康寿命などどのように関わるかを検討するために、約5年ごとに研究代表者が以下の統計情報を閲覧・請求いたします。

① 住民票：生存、死亡、転出の情報を得るために、あなたがお住まいの市町村に請求し、住民票の写しをいただきます。

② 人口動態統計：死因の情報を得るために、厚生労働省に依頼し、人口動態統計を閲覧します。

● 今後、循環器疾患発症や健康寿命指標の精度向上のために、「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法（循環器疾患対策基本法）」によって実施が検討されている循環器疾患登録、「がん登録等の推進に関する法律」に基づく全国がん登録、要介護認定等の統計情報との照合も行う予定です。

### 3. 研究への参加・撤回の自由

● この研究に参加するかどうかは、あなたの自由意思によります。この研究に参加されない場合でも、あなたには何の不利益もありません。

● 研究が始まった後や参加の同意をいただいた後でも、次のような場合には、研究を中止または研究に参加いただけないこともあります。

① 研究全体が中止された場合

② 住民票が発行できない場合

③ あなたが研究参加の中止を申し出た場合（同意撤回）

→①②の場合：すでに集計・公表されたデータおよび匿名化（個人情報を外した）データ・試料（尿・血液）に関しましては、社会的施策や保健医療的体制を是正するために大変貴重な財産となりますので、引き続き使用させていただきます。

→③の場合：健康状態の追跡調査を中止される場合、5ページの連絡先にご連絡ください。上記の理由から、すでに集計・公表されたデータおよび匿名化データ・試料に関しましては引き続き使用させていただきます。また、統計情報を用いた追跡調査等（研究班が行う調査）に関しましてもご負担にならない限り継続させていただきます。

\*特別なご事情がごありで、統計情報を用いた追跡調査を含めてすべての撤回をされたい場合、5ページの連絡先にご相談ください。その際、それまでの匿名化試料（尿・血液）の保存と使用について改めてお伺いいたします。

### 4. 予想される利益と不利益

#### 1) 予想される利益

● 研究参加者全員に、尿検査の結果などを後日お送りします。また検査結果に基づき、将来の循環器疾患予防のためのアドバイスを後日お送りします。

● 年1回程度の健康状態のお問い合わせの際には、健康づくりに役立つ情報などを合わせてお送りします。

● 循環器疾患や生活習慣病のより有効な予防法を確立するための情報が得られ、社会的施策や保健医療的体制を是正するなどの社会的貢献が期待されます。

#### 2) 予想される不利益

● 本日、アンケート調査を行います。10～15分ほどのお時間をいただきます。

● 年1回程度、健康状態についてのアンケート調査を郵送でさせていただきます。その時のあなたの健康状態についてお答えいただき、返送させていただきます。もし返送がないようでしたら、お電話をさせていただきます。少々のお時間を割いてお答えいただきたく思います。

\*参加されても謝金や費用負担はございません。

## 5. 個人情報の取扱い

### 1) 情報・試料の保管方法

収集した情報（データ）・試料（尿・血液）は暗号化（匿名化）した上で、事務局（滋賀医科大学内）にて保管します。あなたの情報・試料と、あなたの個人情報（追跡情報）は別で保管します。これらの対応表は、事務局の施錠された部屋に置かれた外部から遮断されたパソコン上で厳重に管理します。参加者の個人情報は外部に漏れないように厳重に管理します。しかし、悪意のある第三者が侵入し、外部に漏れいする危険性をゼロにすることはできませんのでご理解ください。

### 2) 試料・情報の廃棄方法

収集した情報は研究終了後10年間保存させて頂いた後、尿・血液の試料は研究終了と同時に廃棄いたします。

### 3) 将来の研究のために用いられる可能性または他の研究機関に提供する可能性

分析のために共同研究機関に提供するデータには、個人情報は含まれません。なお、居住されている地区の自治体より地域の実情把握、事業推進（施策考案や健康相談等）のために情報提供を要された場合は、外部に漏れないように十分に配慮した上で、あなたの情報と分かる形でデータを提供する場合があります。

### 4) 業務委託先への非匿名化・匿名化データの授受

データ入力会社（京都工業（株））および尿検査（（株）ヘルスケアシステムズ）を行う委託会社に研究に関する業務を委託します。その際は、個人情報などの守秘義務を明記した委託契約書を交わし、個人情報漏洩について細心の注意を払います。

### 5) 研究成果の報告

個人が特定できない形で学術雑誌、学会等において研究成果について発表、報告を行います。研究成果については厚生労働省や自治体等にも提供を行い、国民の健康および福祉の向上のために有効活用します。またこの内容に関しては年一回程度発行を予定しているニュースレターやホームページ等で公表し、対象者のみなさまにも報告します。本研究により知的所有権が生じた場合は、その権利は本研究班に属し、研究参加者には属しません。

## 6. 研究に関する情報提供と資料閲覧

あなたが研究の計画や方法についてさらに詳細な資料をみたいと思われた場合には、5ページの連絡先まで遠慮なくお申し出ください。他の参加者の個人情報が保護され、この研究の独創性が保たれる範囲内で開示させていただきます。

## 7. 研究担当者と連絡先（相談窓口）

### 1) 研究代表者（責任者）、共同研究機関および研究協力機関

研究代表者：三浦克之 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門教授/アジア疫学研究センター長  
共同研究機関および研究協力機関の研究者については、別紙またはNIPPON DATA ホームページ

(<https://shiga-publichealth.jp/nippon-data/>) をご覧ください。共同研究機関については本研究の情報共有をいたします。

## 2) 連絡先（相談窓口）

あなたがこの研究について知りたいことや、心配なことがありましたら、なんでも遠慮なく以下の連絡窓口にご相談ください。

### **NIPPON DATA（ニッポンデータ）2020 事務局**

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学 アジア疫学研究センター内 NIPPON DATA2020 事務局

（滋賀医科大学 社会医学講座公衆衛生学部門 准教授 門田文）

電話 077-548-2476

FAX 077-543-4800

E-mail: [nd2020@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:nd2020@belle.shiga-med.ac.jp)

ホームページ: <https://shiga-publichealth.jp/nippon-data/>

以上の文章を読んで、この研究に参加することに同意していただける場合は、次の「同意書」にあなたのお名前、住所等を記入し、担当者にお渡しください。

# 同意書

滋賀医科大学学長殿

滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門教授/アジア疫学研究センター長 三浦克之殿

研究課題名：2020年国民健康・栄養調査対象者の追跡研究 NIPPON DATA2020

以下の項目について、十分な説明を受け、理解しました。

 必ずすべてチェックしてください。

<input type="checkbox"/>	1. 研究の概要（背景、目的、対象者、期間、資金と利益相反）
	2. 研究の方法
<input type="checkbox"/>	1) 本日の調査（アンケート調査および尿検査（尿検体保存を含む））
<input type="checkbox"/>	2) 今後、ご協力頂きたい調査__健康状態の追跡調査 （年1回程度の、郵便・電話により健康状態、受診中の医療機関等に関するお問い合わせとそれに基づいた診療録（カルテ）の閲覧あるいは病名の照会）
<input type="checkbox"/>	3) 今後、研究班が行う調査 （国民健康・栄養調査結果の共有、血液の保存と追加検査、統計情報を用いた追跡調査（住民票、人口動態統計の請求もしくは閲覧、循環器疾患登録、がん登録、要介護認定等の情報との照合））
<input type="checkbox"/>	3. 研究への参加・撤回の自由
<input type="checkbox"/>	4. 予想される利益と不利益
<input type="checkbox"/>	5. 個人情報の取扱い （将来の研究のために用いられる可能性または他の研究機関に提供する可能性など）
<input type="checkbox"/>	6. 研究に関する情報提供と資料閲覧
<input type="checkbox"/>	7. 研究担当者と連絡先（相談窓口）
<input type="checkbox"/>	上記研究課題の説明文書を受け取りました

研究協力の内容を十分に理解し、「わたし」の自由な意思で決定したことを表明します。

署名年月日 2020年 月 日

\*黒枠内は必ずすべて記載してください\*

フリガナ	
署名	
生年月日	大正・昭和・平成・西暦 年 月 日生まれ
住所	〒 ー 都道府県 市町村区
電話番号	( ) ー

\*日中連絡可能な連絡先\*

【代諾者の署名欄】

代諾者氏名（自署）： \_\_\_\_\_（続柄： \_\_\_\_\_）

説明年月日：2020年 月 日 調査担当者署名： \_\_\_\_\_

調査担当者 ID： \_\_\_\_\_

# 同意撤回書

## -健康状態の追跡調査-

滋賀医科大学学長殿

滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門教授/アジア疫学研究センター長 三浦克之殿

研究課題名：2020年国民健康・栄養調査対象者の追跡研究 NIPPON DATA2020

私は、この研究の健康状態の追跡調査（年1回程度の、郵便・電話により健康状態、受診中の医療機関等に関するお問い合わせとそれに基づいた診療録（カルテ）の閲覧あるいは病名の照会）に参加することに同意しましたが、同意を撤回します。

下の記入欄にお名前等をお書きのうえ、下記の宛先に郵送でお送りください。

ご記入日	年	月	日
ご署名 (自筆)			
ご住所	〒	— 都道府県	市町村区

### 取り消し請求書の宛先

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学アジア疫学研究センター内 NIPPON DATA2020 事務局

電話 077-548-2476 FAX 077-543-4800

受理日 年 月 日  
NIPPON DATA2020 事務局担当者

# 同意撤回書

滋賀医科大学学長殿

滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門教授/アジア疫学研究センター長 三浦克之殿

研究課題名：2020年国民健康・栄養調査対象者の追跡研究 NIPPON DATA2020

私は、この研究に参加することに同意しましたが、  
同意を撤回します。

なお、同意撤回後も匿名化（個人情報を外した）試料（尿・血液）を保存し、  
本研究を行うために使用することについて、

同意します  同意しません（同意撤回後はすべて破棄してください）

下の記入欄にお名前等をお書きのうえ、下記の宛先に郵送でお送りください。

ご記入日	年	月	日
ご署名 (自筆)			
ご住所	〒	— 都道府県	市町村区

## 取り消し請求書の宛先

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学アジア疫学研究センター内 NIPPON DATA2020 事務局

電話 077-548-2476 FAX 077-543-4800

受理日 年 月 日  
NIPPON DATA2020 事務局担当者

2020 年国民健康・栄養調査対象者の追跡研究 NIPPON DATA2020

(共同研究機関・研究協力機関)

1) 共同研究機関

役割: 研究計画立案、自治体・調査委託健診機関との調整、調査実務、各施設における匿名化データの分析 (\*は各施設における匿名化データの管理者)

帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座 教授 大久保孝義\*

慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学 教授 岡村 智教\* 医療学部 教授 杉山 大典

合同会社生活習慣病予防研究センター 代表 岡山 明\*

人間総合科学大学健康栄養学科 教授 奥田奈賀子\*

浜松医科大学健康社会医学講座 教授 尾島 俊之\* 准教授 中村 美詠子

敦賀市立看護大学看護学部 教授 喜多 義邦\*

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養・研究所 国際栄養情報センター

センター長 西 信雄\* 研究員 宮川 尚子

立命館大学衣笠総合研究機構地域健康社会学研究センター 教授 早川 岳人\*

国立循環器病研究センター予防健診部 部長 宮本 恵宏\* 医長 東山 綾 医長 渡邊 至

大阪市立大学大学院生活科学研究科 食・健康科学講座公衆栄養学 教授 由田克士\*

千葉県立保健医療大学健康科学部栄養学科 准教授 荒井 裕介\*

福岡大学医学部衛生・公衆衛生学教室 教授 有馬 久富\*

帝塚山大学現代生活学部食物栄養学科 准教授 岩橋 明子\*

京都府立医科大学大学院医学研究課地域保健医療疫学 教授 上原 里程\*

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野 教授 神田 秀幸\* 准教授 久松 隆史

大分大学医学部公衆衛生・疫学講座 教授 斉藤 功\*

札幌医科大学保健医療学部看護学科基礎臨床医学講座 教授 斎藤 重幸\* 医学部公衆衛生学講座  
教授 大西 浩文

岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座 教授 坂田 清美\*

近畿大学医学部公衆衛生学教室 准教授 高嶋 直敬\*

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科国際島嶼医療学講座 教授 嶽崎 俊郎\*

新潟県立大学人間生活学部・健康栄養学科 教授 田邊 直仁\*

金沢医科大学総合医学研究所 嘱託教授 中川 秀昭 医学部衛生学講座 准教授 櫻井 勝\*

琉球大学大学院医学研究科衛生学・公衆衛生学講座 教授 中村 幸志\*

## 別添 1

自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門 教授 中村 好一\*

九州大学大学院医学研究院衛生・公衆衛生学分野 教授 二宮 利治\*

秋田大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座 教授 野村 恭子\*

和歌山県立医科大学医学部衛生学講座 教授 藤吉 朗\*

東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門 教授 寶澤 篤\*

東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野 教授 村上 義孝\*

藤田医科大学医学部公衆衛生学 教授 八谷 寛\* 准教授 太田 充彦

山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座 教授 山縣 然太郎\*

## 2) 研究協力機関

大阪府藤井寺保健所 所長 田中 英夫\*

役割: 自治体・調査委託健診機関との調整

公益財団法人放射線影響研究所 業務執行理事 児玉 和紀

役割: 研究計画・実施に関する助言

公益財団法人予防医学事業中央会 理事長 櫻林 郁之介 専務理事 山根 則幸

役割: 予防医学事業中央会支部(委託健診機関)の取りまとめ

「2020 年国民健康・栄養調査対象者の追跡研究 NIPPON DATA2020」の実施に関する覚書

国立大学法人滋賀医科大学長 上本伸二（以下、甲という。）と●●県 ○○○○（以下、乙という。）とは、「2020 年国民健康・栄養調査対象者の追跡研究 NIPPON DATA2020」（以下、NIPPON DATA2020）事業の実施に際して以下の通り覚書を締結する。

（目的）

第1条 本事業は、「2020 年国民健康・栄養調査対象者の追跡研究 NIPPON DATA2020」事業で調査した結果を甲が統計解析し、今後の国民の生活習慣病予防に役立てる研究を行うことを目的とする。

第2条 甲は乙の協力のもと NIPPON DATA2020 の一環として第 1 項及び、第 2 項に示した調査を実施する。

（NIPPON DATA2020 研究代表者：滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授 三浦克之）

第1項 ベースライン調査の実施

甲は、乙が実施する健康増進法に基づく 2020 年度国民健康・栄養調査に併せて NIPPON DATA2020 を実施する。実施に際して甲はこの調査の一部あるいは全部を健診機関等に委託することができる。

NIPPON DATA2020 の調査では書面への自署によって研究協力の同意が得られた国民健康・栄養調査の受検者（以下、調査対象者）に質問票調査、尿検査、追加血液検査（第 2 項によって提供された検体で行う）、および追跡調査を行う。同意書は甲が研究終了まで厳重に保管する。

第2項 血液検体の提供

乙は調査対象者の国民健康・栄養調査において採血された検体の一部（国民健康・栄養調査での測定項目を測定した残余血液検体）を甲に提供する。提供された血液は、凍結保管され、後日、甲が指定する検査機関にて測定項目を測定する。

（費用負担）

第3条 乙は、本調査事業にかかる一切の費用負担を負わないものとする。

（目的外使用の禁止及びデータ管理）

第4条 甲は、第 2 条第 1 項及び第 2 項によって得た情報や試料および提供された血液検体の本研究目的以外の使用並びに第 3 者への漏洩、譲渡をしてはならない。ただし、甲が指定した検査機関における血液検体の測定委託の場合はこれを除外する。

第5条 第 2 条第 1 項及び第 2 項による調査の実施及び検体の提供によって得られた情報のうち個人識別可能な情報と切り離れた情報については、学術研究目的に限り調査対象者の同意の得られた範囲で他の研究との統合解析のために提供する場合がある。

第6条 第 2 条第 1 項及び第 2 項によって実施されたあるいは提供された検体から得られた

データは、研究が終了するまで甲が保管するものとする。

第7条 甲は収集した個人データの漏洩、滅失および毀損の防止、その他個人データの適切な管理のために必要な措置を講ずるものとする。

(事故及び損害の責任)

第8条 本調査事業によって追加される検査及び調査の実施に関して、生じた事故及び損害については、乙に故意又は重過失のない限り、甲がその負担と責任において処理に当たるものとする。

ただし、甲が調査事業を委託した場合は、調査の実施中に生じた事故および損害については委託先健診機関等が、その負担と責任において処理に当たるものとする。

(覚書の発効と継続)

第9条 本覚書は、2020年〇月〇日から発効する。

(覚書遂行の原則)

第10条 甲乙双方は信義誠実にこの契約を遂行しなければならない。ただし、甲乙双方に特別の事情が生じた場合、またはこの覚書に定めない事項は甲乙協議の上決定する。本覚書を証するため本書を2通作成し、甲・乙記名捺印のうえ、各自1通を保有するものとする。

2020年 月 日

甲 滋賀県大津市瀬田月輪町  
国立大学法人滋賀医科大学  
学 長 上本 伸二 印

乙 〇〇県〇〇市〇〇  
〇〇  
〇〇 〇〇 印

## ベースライン調査業務委託先

## 1) 調査業務(本研究の趣旨説明、同意取得、問診、尿検査説明等)

機関名	住所	電話番号
公益財団法人岩手県予防医学協会	〒020-8585 岩手県盛岡市北飯岡4850	019-638-7185
公益財団法人茨城県総合健診協会	〒310-8501 茨城県水戸市笠原町489-5	029-241-0011
公益財団法人栃木県保健衛生事業団	〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1	028-623-8181
公益財団法人群馬県健康づくり財団	〒371-0005 群馬県前橋市堀之下町16-1	027-269-7811
公益財団法人ちば県民保健予防財団	〒261-0002 千葉県千葉市美浜区新港32-14	043-246-0350
公益財団法人東京都予防医学協会	〒162-8402 東京都新宿区市ヶ谷砂土原町1-2 保健会館	03-3269-1121
公益財団法人新潟県保健衛生センター	〒951-8680 新潟県新潟市中央区白山浦2-180-5	025-267-8191
公益財団法人山梨県健康管理事業団	〒400-0034 山梨県甲府市宝1-4-16	055-225-2800
一般財団法人石川県予防医学協会	〒920-0365 石川県金沢市神野町東115	076-249-7222
公益財団法人福井県予防医学協会	〒918-8238 福井県福井市和田2-1006	0776-23-4810
公益財団法人静岡県予防医学協会	〒426-0053 静岡県藤枝市善左衛門2-11-5	054-636-6461
公益財団法人兵庫県予防医学協会	〒657-0846 兵庫県神戸市灘区岩屋北町1-8-1	078-855-2701
医療法人 橋甲会(大阪予防医学健診センター)	〒540-0013 大阪府大阪市中央区内久宝寺町3-4-1	06-6943-1306
公益財団法人鳥取県保健事業団	〒680-0845 鳥取県鳥取市富安2-94-4	0857-23-4841
公益財団法人山口県予防保健協会	〒753-0814 山口県山口市吉敷下東3-1-1	083-933-0008
公益財団法人香川県予防医学協会	〒761-8071 香川県高松市伏石町2129-2	087-868-5555
公益財団法人高知県総合保健協会	〒780-8513 高知県高知市棧橋通6-7-43	088-831-4800
公益財団法人福岡県すこやか健康事業団	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-1-32	092-722-2511
公益財団法人長崎県健康事業団	〒859-0401 長崎県諫早市多良見町化屋986-3	0957-43-7131
一般財団法人熊本県健康管理協会	〒861-8528 熊本県熊本市東区長嶺南2-1-1 日赤熊本健康管理センター内	096-382-9045
公益財団法人宮崎県健康づくり協会	〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島1-1-2	0985-38-5512

## 2) 検査(尿検査)

機関名	住所	電話番号
株式会社ヘルスケアシステムズ	〒464-0858 愛知県名古屋市千種区千種2-22-8 名古屋医工連携インキュベータ105	098-8896474

## 3) データ入力業務

機関名	住所	電話番号
京都工業株式会社	〒612-0007 京都府京都市伏見区深草下横町15	075-641-8278

(資料2)

受付  
番号

01



Dフォーム

1 枚目

厚生労働行政推進調査事業費補助金  
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業  
「新旧（1980-2020年）のライフスタイルからみた国民代表集団大規模コホート研究：  
NIPPON DATA80/90/2010/2020（H30-循環器等-指定-002）」

# 2020年 国民健康・栄養調査対象者の 追跡研究 NIPPON DATA 2020 （ニッポンデータ 2020） 問診票（案）

（Ver.1.9）2020年4月3日

黒えんぴつもしくは黒ボールペンでご記入ください。

あてはまる番号に○印をつけてください。

（ ）内には数字、または自由記述でご記入ください。

【あなたの健康状態についておたずねします】

問1 あなたはこれまでに医療機関や健診で高血圧（血圧が高い）といわれたことがありますか。あてはまる番号を選んで○印をつけてください。

1 はい                      2 いいえ      → 問2へ



（問1-1） 問1で「はい」と答えた方におたずねします。高血圧の治療（通院による定期的な検査や生活習慣の改善指導を含む）を受けたことがありますか。あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

- 1 過去から現在にかけて継続的に受けている
- 2 過去に中断したことがあるが、現在は受けている
- 3 過去に受けたことがあるが、現在は受けていない
- 4 これまでに治療を受けたことがない

問2 あなたはこれまでに医療機関や健診で血中コレステロール（総コレステロールまたはLDLコレステロール）または中性脂肪が高いといわれたことがありますか。あてはまる番号を選んで○印をつけてください。

1 はい                      2 いいえ      → 問3へ



（問2-1） 問2で「はい」と答えた方におたずねします。血中コレステロール・中性脂肪の治療（通院による定期的な検査や生活習慣の改善指導を含む）を受けたことがありますか。あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

- 1 過去から現在にかけて継続的に受けている
- 2 過去に中断したことがあるが、現在は受けている
- 3 過去に受けたことがあるが、現在は受けていない
- 4 これまでに治療を受けたことがない

問3 あなたは医師から脳卒中（脳梗塞、脳血栓、脳塞栓、脳出血、くも膜下出血）といわれたことがありますか。あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

1 はい                      2 いいえ                      3 わからない

問4 あなたは医師から心筋梗塞といわれたことがありますか。あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

- 1 はい                    2 いいえ                    3 わからない

問5 あなたは医師から心不全といわれたことがありますか。あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

- 1 はい                    2 いいえ                    3 わからない

問6 あなたは医師から心房細動しんぼうさいどうといわれたことがありますか。あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

- 1 はい                    2 いいえ                    3 わからない

問7 あなたは心臓冠動脈かんだうみやくの血行再建術けっこうさいけんじゅつ（ステント留置、バイパス術など）を受けたことがありますか。あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

- 1 はい                    2 いいえ                    3 わからない

問8 あなたは医師から腎臓病じんぞうびょうまたは腎機能が低下しているといわれたことがありますか。あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

- 1 はい                    2 いいえ                    3 わからない

問9 あなたは医師から「がん」といわれたことがありますか。あてはまる番号を選んで○印をつけてください。

- 1 はい                    2 いいえ                    → 問10へ

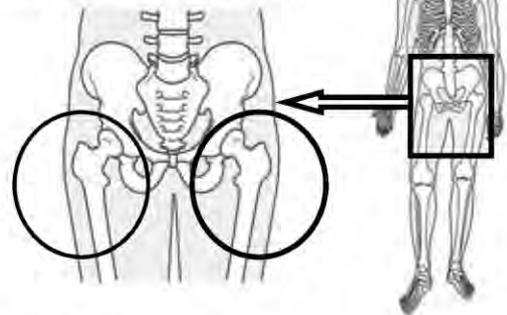


（問9-1） 問9で「はい」と答えた方におたずねします。  
「がん」といわれた部位すべてに○をつけてください。

- 1 胃                    2 大腸                    3 肝臓                    4 肺                    5 乳がん  
6 子宮                    7 血液・リンパ                    8 膵臓                    9 前立腺  
10 その他（                    ）                    11 わからない

問10 これまでに大腿骨頸部だいたいこつけいぶ（足の付け根部分）を骨折したことがありますか。あてはまる番号を選んで○印をつけてください。

- 1 はい                      2 いいえ



（問10-1）問10で「はい」と答えた方におたずねします。  
それはいつ頃ですか。

（大正・昭和・平成・令和\_\_\_\_\_年頃）

【以下は女性の方だけにおたずねします。男性は問14からお答えください】

問11 現在、月経（生理）はありますか。あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

- 1 ある      2 閉経した（自然に）      3 閉経した（手術で）



（問11-1）閉経したのは何歳頃ですか。（        ）歳

問12 妊娠の経験はありますか。あてはまる番号を選んで○印をつけ、1の場合は回数を数字で記載ください。

- 1 はい（        ）回                      2 いいえ

問13 出産の経験はありますか。あてはまる番号を選んで○印をつけ、1の場合は回数を数字で記載ください。

- 1 はい（        ）回                      2 いいえ



（問13-1）

問13で「はい」と答えた方におたずねします。

あわせて何人出産されましたか。（        ）人

はじめての出産は何歳でしたか。（        ）歳

【すべての方におたずねします。生活習慣についてお答えください。】

問14 この1ヶ月間の「受動喫煙（あなた以外の方が吸っていたタバコを吸う機会）」についてお尋ねします。

\*新型タバコ：加熱式タバコ（プルームテック、アイコス、グローなど）や電子タバコを指します。

（問14-1）家庭での受動喫煙が1週間合計で1時間以上ありましたか。あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

- 1 なかった
- 2 紙巻きたばこの受動喫煙があった
- 3 新型タバコ\*の受動喫煙があった
- 4 紙巻きたばこと新型タバコ\*の両方の受動喫煙があった
- 5 種類は分からないが、受動喫煙があった

（問14-2）職場での受動喫煙が1週間合計で1時間以上ありましたか。あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

- 1 なかった（または、無職である）
- 2 紙巻きたばこの受動喫煙があった
- 3 新型タバコ\*の受動喫煙があった
- 4 紙巻きたばこと新型タバコ\*の両方の受動喫煙があった
- 5 種類は分からないが、受動喫煙があった

問15 あなたはタバコを吸いますか。あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

- 1 毎日吸っている
- 2 時々吸う日がある
- 3 以前は吸っていたが、1ヶ月以上吸っていない →問15-1へ
- 4 吸わない →問16へ

問15-4へ

（問15-1）何歳の時にタバコをやめましたか。

（ ）歳

（問15-2）禁煙した方法について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 禁煙外来（飲み薬またはニコチンパッチ）
- 2 薬局でニコチンガムまたはニコチンパッチを購入
- 3 何も使わず、自力で禁煙した
- 4 その他（ ）

(問15-3) 禁煙した理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 吸いたいと思わなくなった・美味しいと感じなくなったため
- 2 自分の健康を守るため
- 3 周囲の人の健康を守るため
- 4 からだの調子が悪かったため
- 5 家族や医師に止められたため
- 6 喫煙場所が減ったため
- 7 お金がかかるため
- 8 その他 ( )

(問15-4) あなたが吸っている(吸っていた)たばこ製品について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 紙巻たばこ
- 2 加熱式たばこ(プルーム・テック、アイコス、グローなど)
- 3 電子たばこ(ニコチン入り)
- 4 電子たばこ(ニコチン無し、香料入り、または不明)
- 5 その他 ( )

(問15-5) あなたは通常、1日に何本または何回たばこを吸いますか(吸っていましたか)。たばこ製品すべてについてお答えください。

- 1 紙巻きたばこ ( ) 本
- 2 加熱式たばこ(スティックタイプ) ( ) 本  
[アイコス、グロー、プルーム・エスなど]
- 3 加熱式たばこ(カプセル・ポッドタイプ) ( ) 個  
[プルーム・テック、グロー・センスなど]
- 4 電子たばこ ( ) 回\*\*

\*\*吸って吐いてを繰り返す10分程度のひとまとまりの行為を1回とみなしてお答えください。

(問15-6) 何歳の時から習慣的にたばこを吸うようになりましたか。

( ) 歳



問21 あなたは高血圧や糖尿病、高コレステロール、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の予防・改善のために普段の生活で心がけていることがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 食べ過ぎないようにしている（カロリー制限している）
- 2 塩分を取りすぎないようにしている（減塩している）
- 3 脂肪（あぶら分）を取りすぎないようにしている
- 4 甘いもの（糖分）を取りすぎないようにしている
- 5 野菜をたくさん食べるようにしている
- 6 肉に偏らず魚を取るようにしている
- 7 お酒（アルコール）を飲み過ぎないようにしている
- 8 運動をするようにしている
- 9 睡眠で休養を充分にとるようにしている
- 10 気分転換・ストレス解消をするようにしている
- 11 あてはまるものがない、または、心がけていることがない

問22 あなたはこの1年間に家庭で体重を測定したことがありますか。あてはまる番号を選んで○印をつけてください。

- 1 はい                      2 いいえ → 問23へ



（問22-1） 問22で「はい」と答えた方におたずねします。どのくらいの頻度で測っていますか。あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

- 1 ほぼ毎日（週に6日以上）              2 週に3～5日  
3 週に1～2日              4 月2～3日                      5 月に1回以下

問23 あなたはこの1年間に家庭で血圧を測定したことがありますか。あてはまる番号を選んで○印をつけてください。

- 1 はい                      2 いいえ → 問24へ



（問23-1） 問23で「はい」と答えた方におたずねします。どのくらいの頻度で測っていますか。あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

- 1 ほぼ毎日（週に6日以上）              2 週に3～5日  
3 週に1～2日              4 月2～3日                      5 月に1回以下

問24 歯の健康づくりのために、使用している器具すべてに○をつけてください。

- 1 歯ブラシ      2 歯間ブラシ      3 デンタルフロス・糸（付）ようじ  
4 舌ブラシ      5 使用していない（ゆすぐのみなど）

【ストレスや心の元気さについておたずねします】

問25 過去1カ月間の心の元気さについて、あてはまる番号1つずつに○をつけて下さい。

	いつも	たいてい	時々	少しだけ	まったく ない
① 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
② 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
③ そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
④ 気分が沈みこんで、何が起ころっても気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
⑤ 何をするのも骨折りだと感じましたか	1	2	3	4	5
⑥ 自分が価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

問26 現在の生活に全体としてどの程度満足していますか。あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

- 1 満足      2 まあ満足      3 どちらでもない  
4 やや不満      5 不満      6 わからない

問27 現在あなたは幸福だと思いますか。あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

- 1 思う      2 まあまあ思う      3 どちらでもない  
4 思わない      5 わからない

問28 「生きがい」や「生活のはり」「いきいきと生きている」と感じることがありますか。あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

- 1 ある      2 ときどきある      3 ない      4 わからない

【日常生活動作についておたずねします】

問29 あなたは食事、排尿・排便、着替え、入浴、歩行の際、他人の手助けを必要としますか。あてはまる番号を選んで○印をつけてください。

1 はい                      2 いいえ → 問30へ



(問29-1) 問29で「はい」と答えた方におたずねします。他人の手助けを必要とするものすべてに○をつけてください。

1 食事                      2 排尿・排便                      3 着替え  
4 入浴                      5 歩行

問30 あなたは介護保険を利用していますか。あてはまる番号を1つ選んで○印をつけてください。

1 はい                      2 いいえ                      3 わからない

問31 毎日の生活について、あてはまる番号1つずつに○をつけて下さい。(「普段している/していない」ではなく、「やろうと思えばできる」かを考えてお答えください)

	はい	いいえ
① バスや電車を使って一人で外出できますか	1	2
② 日用品の買い物ができますか	1	2
③ 食事の用意ができますか	1	2
④ 請求書の支払いができますか	1	2
⑤ 銀行預金・郵便貯金の出し入れが自分でできますか	1	2
⑥ 年金などの書類が書けますか	1	2
⑦ 新聞を読んでいますか	1	2
⑧ 本や雑誌を読んでいますか	1	2
⑨ 病人を見舞うことができますか	1	2
⑩ 友達の家を訪ねることがありますか	1	2
⑪ 健康についての記事や番組に関心がありますか	1	2
⑫ 家族や友達の相談にのることがありますか	1	2



【病気の原因についての知識をお聞きします】

問36 高血圧の原因として正しいと思うものすべてに○をつけてください。

- |           |            |           |
|-----------|------------|-----------|
| 1 肥満      | 2 運動不足     | 3 喫煙      |
| 4 塩分のとりすぎ | 5 野菜や果物の不足 | 6 お酒の飲み過ぎ |
| 7 睡眠不足    | 8 牛乳の飲み過ぎ  | 9 緑茶の飲み過ぎ |

問37 心筋梗塞または脳卒中の原因として正しいと思うものすべてに○をつけてください。

- |                             |              |       |
|-----------------------------|--------------|-------|
| 1 高血圧                       | 2 高コレステロール血症 | 3 糖尿病 |
| 4 痛風（高尿酸血症）                 | 5 肝機能障害（脂肪肝） | 6 喫煙  |
| 7 不整脈                       | 8 腎障害（蛋白尿）   | 9 貧血  |
| 10 HDL コレステロール（善玉コレステロール）低値 |              |       |

質問は以上です。

ご協力いただきありがとうございました。







大分類	細分類	質問 (新)問い番号	質問	選択肢	平均スコア	←採択を推奨			←採択を推奨			←採択を推奨			←採択を推奨								
						9	8	7	6	5	4	3	2	1	9	8	7	6	5	4	3	2	1
生活習慣	飲酒	問19	あなたは週に何日お酒(清酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲みますか。  (問19-1) お酒を飲む日は1日あたり、どれくらいの量を飲みますか。(清酒に換算して下さい。) 清酒1合(180ml)は、次の量にほぼ相当します。 ビール・発泡酒中瓶1本(約500ml)、焼酎20度(135ml)、焼酎25度(110ml)、焼酎35度(80ml)、チューハイ(350ml)、ウィスキーダブル1杯(60ml)、ワイン2杯(240ml)	1 毎日 2 週5～6日 3 週3～4日 4 週1～2日 5 月に1～3日 6 やめた(1年以上やめている)	8.9	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
				1 1合(180ml)未満 2 1合以上2合(360ml)未満 3 2合以上3合(540ml)未満 4 3合以上4合(720ml)未満 5 4合以上5合(900ml)未満 6 5合(900ml)以上	11	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活習慣	生活習慣	問20	あなたはこれまでに健康診断等で肝機能障害を指摘されたことがありますか。 【191008改訂】  その原因は何と考えていますか(医師から説明を受けた場合は、その原因を教えてください)。 【191008改訂】	1 ある 2 ない 3 わからない	6.8	4	1	3	1	2	0	0	0	1									
				1 ウイルス性肝炎 2 飲酒 3 脂肪肝 4 悪性腫瘍 5 その他(自由記述: ) 【191008改訂】	2	1	5	0	3	0	0	0	1										
生活習慣	飲酒	問21	あなたの飲酒が原因で、これまでにあなた自身か他の誰かがケガをしたことがありますか。  あなたは今までにお酒を飲んだことがありますか。	1 ある 2 ない	5.6	0	0	5	1	5	0	0	0	1	2	0	0	4	2	1	2	0	0
				1 過去から現在にかけて継続的に受けている 2 過去に中断したことがあるが、現在は受けている 3 過去に受けたことがあるが、現在は受けない 4 これまでに治療を受けたことがない	1	2	1	2	2	0	1	0	3	1	3	1	3	1	0	1	0	1	0
生活習慣	飲酒	問22	「はい」と答えた方におたずねします。 (問22-1) お酒を飲み始めて1～2年のころ、ビールコップ1杯(180ml)程度の飲酒で、すぐに顔が赤くなりましたか。  (問22-2) 現在、ビールコップ1杯程度の飲酒で、頭痛や吐き気、動悸がしますか。	1 はい 2 いいえ 3 わからない	6.3	4	2	1	0	1	1	2	0	1	2	4	1	0	3	0	1	0	0
				1 はい 2 いいえ 3 わからない	2	3	1	1	1	1	2	0	1	2	0	1	1	5	1	0	3	0	1
生活習慣	飲酒	問23	あなたはこれまでに健康診断等で肝機能障害を指摘されたことがありますか。 【191008改訂】  その原因は何と考えていますか(医師から説明を受けた場合は、その原因を教えてください)。 【191008改訂】	1 ある 2 ない 3 わからない	5.8	2	3	0	1	2	1	2	0	1	1	3	1	2	3	0	1	0	0
				1 ウイルス性肝炎 2 飲酒 3 脂肪肝 4 悪性腫瘍 5 その他(自由記述: ) 【191008改訂】	2	3	0	1	2	1	2	0	1	2	0	1	1	3	1	2	3	0	1





生活習慣		(問30-1) 禁煙した理由を選んでください。 い。	1 吸いたいと思わなくなった・美味しなくなった 2 家族や医師に止められたから (健康上の理由) 3 喫煙場所が減ったから 4 経済上の理由 5 その他 (自由記述)	新規	7.8	4	4	4	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活習慣	食事	(問30-2) 禁煙した方法	1 禁煙外来 2 ニコチンガム・ニコチンテープ 3 新型たばこ→禁煙 4 その他	新規	7.6	4	2	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活習慣	食事	問31 あなたはふだん朝食、昼食、夕食をそれぞれ何回食べますか。 【191008改訂】	朝食 ( ) 回/週 昼食 ( ) 回/週 夕食 ( ) 回/週 【191008改訂】	国調	6.6	2	2	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活習慣	食事	問32 ①あなたは普段の食事で1日あたり「あと一皿程度野菜を増やせますか」 ② (いいえと回答した人に) 増やせない理由について次の選択肢からあてはまるものをすべて選択してください。 【191008改訂】	設問① はい、いいえ 設問② 1. 野菜が好きではない 2. 野菜の価格が高い 3. 自分で食事の準備をしない 4. 外食が多い 5. 自分が不足しているかわからない 6. すでに十分野菜を食べている 7. その他 ( ) 【191008改訂】	国調	5.4	3	0	2	2	0	2	1	0	1						
生活習慣	食事 カフェイン飲料の飲用状況	問33 あなたはふだん次の飲物をそれぞれどのくらい飲みますか。 コーヒー 紅茶 緑茶 コーラなどの炭酸飲料 【191008改訂】	1 毎日 2 2日に1回 3 3-4日に1回 4 週1回 5 週1回未満 【191008改訂】	新規	5.8	1	2	3	3	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
生活習慣	食事 甘味飲料 (SSB) の	問34 上と統合 【191008改訂】	上と統合 【191008改訂】	新規	1.2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活習慣	食事 サプリメント (栄養補助食品) の使用実態	問35 最近1年以上にわたって1週間に1回以上の頻度でビタミン剤、カルシウム剤、ミネラル剤などのサプリメントをとっていますか。 ※赤字部分以外はJ-MICCと同じ聞き方 【191008改訂】	1. とっている 2. とっていない 3. わからない 【191008改訂】	新規	6.6	1	5	2	2	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0

大分類	細分類	(新)問 号	質問	選択肢	平均スコア	←採択を推奨			←採択を推奨			←採択を推奨			←採択を推奨										
						9	8	7	6	5	4	3	2	1	9	8	7	6	5	4	3	2	1		
生活習慣			<p>最近1年以上にわたって1週間に1度以上の頻度で健康食品（クロレラ、ローヤルゼリーなど）をとっていますか。 ※J-MICCと全く同じ聞き方 【191008改訂】</p>	<p>1 とっている 2 とっていない 3 わからない 【191008改訂】</p>	6.2	0	3	4	3	0	0	1	0	1	0	4	2	1	1	0	2	0	0		
				<p>〇〇円（カテゴリで選択）</p>	4.9	0	2	2	2	2	1	0	0	3	0	2	2	2	3	0	1	0	1	0	1
				<p>サブリメントや健康食品をとっている理由について次の選択肢からあらはまるものすべてを選択してください。 【191008改訂】</p>	5.0	1	1	2	2	3	0	0	0	2	0	3	1	2	3	0	2	0	0	0	0
				<p>1 不足している栄養素を補給するため 2 治療や症状を緩和するため 3 健康の維持増進のため 4 疾病の予防のため 5 老化予防のため 6 美容のため 7 ダイエット 8 その他 【191008改訂】</p>	6.4	1	4	5	0	0	0	0	0	0	1										
	食事	問36	<p>食事を用意するための買い物についておたずねします。 買い物に不便を感じていますか。 【191008改訂】</p>	<p>1 はい 2 いいえ 【191008改訂】</p>																					







大分類	細分類	(新)問い番号	質問	選択肢	平均スコア	←採択を推奨			←採択を推奨			←採択を推奨			←採択を推奨							
						9	8	7	6	5	4	3	2	1	9	8	7	6	5	4	3	2
			5. もし、以下の状況になったとしたら、どのくらいとうとうとする(数秒~数分眠ってしまう)と思いますか。最近の日常生活を思い浮かべてお答えください。 以下の状況になったことが実際になくても、その状況になればどうなるかを想像してお答え下さい(1~8の各項目で、○は1つだけ)。 すべての質問にお答えしていただくことが大切です。 できる限りすべての項目にお答えください。 1)すわって何かを読んでいるとき(新聞、雑誌、本、書類など) 2)すわってテレビを見ているとき 3)会議、映画館、劇場などで静かにすわっているとき 4)乗客として1時間続けて自動車に乗っているとき 5)午後に横になって、休息をとっているとき 6)すわって人と話をしているとき 7)屋敷をとった後(飲酒なし)、静かにすわっているとき 8)すわって手紙や書類などを書いているとき 【191008改訂】	5.回答選択肢 うとうとする可能性はほとんどない 0 うとうとする可能性は少しある 1 うとうとする可能性は半々くらい 2 うとうとする可能性が高い 3 Copyright, Murray W. Johns and Shunichi Fukuhara. 2006.	4.3	1	0	2	1	2	2	1	0	2								
			問7. 過去1か月間において、どれくらいの頻度で、眠るために薬(医師から処方された薬、あるいは薬局で買った薬)を服用しましたか。【191008改訂】	問7. 回答選択肢 0. なし 1. 1週間に1回未満 2. 1週間に1-2回 3. 1週間に3回以上	新規	5.5	1	1	6	0	0	0	2	0	1							
	健康行動	問48	あなたはこの1年間に家庭で体重を測定したことがありますか。	1 ある 2 ない 3 わからない	国調	7.8	6	2	3	0	0	0	1	0	0	4	3	2	0	1	0	0
	生活習慣		(問48-1) どのくらいの頻度で測っていますか。	1 ほほ毎日(週に6日以上) 2 週に3~5日 3 週に1~2日 4 月2~3日 5 月に1回以下	国調	7.6	5	2	3	1	0	0	1	0	0	2	4	3	0	1	0	0
	健康行動	問49	あなたはこの1年間に家庭で血圧を測定したことがありますか。	1 ある 2 ない 3 わからない	国調	8.2	7	2	2	0	1	0	0	0	0	5	2	2	0	2	0	0





生活習慣	健康知識	問62	脳卒中の症状について知っているもの全てに○をつけて下さい。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 突然、片方の手足や顔半分の麻痺・しびれが起こる</li> <li>2 両手の指先がしびれる</li> <li>3 突然、ろれつが回らなくなったり、言葉が出なくなったり、他人の言うことが理解できなくなる</li> <li>4 突然、経験したことのない激しい頭痛がする</li> <li>5 突然、鼻血が出る</li> <li>6 突然、力はあるのに立てなくなったり、歩けなくなったり、フラフラする</li> <li>7 急に、発熱する</li> <li>8 突然、左側の肩が痛くなる</li> <li>9 突然、息が苦しくなる</li> <li>10 突然、片方の目が見えなくなったり、物が二つに見えたり、視野が半分にかける</li> </ol>	ND2010	6.8	1	1	8	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0				
生活習慣	健康知識	問63	心筋梗塞の症状について知っているもの全てに○をつけて下さい。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 突然胸や背中に強い痛みを感じる</li> <li>2 息が苦しくなる</li> <li>3 激しい頭痛がする</li> <li>4 鼻血が出る</li> <li>5 突然、意識を失う</li> </ol>	ND2010	6.3	1	1	7	1	0	0	1	0	1	3	1	4	1	0	1	0	0	
生活習慣	健康知識	問64	高血圧の原因として正しいと思うもの全てに○をつけて下さい。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 肥満</li> <li>2 運動不足</li> <li>3 喫煙</li> <li>4 塩分の摂りすぎ</li> <li>5 野菜や果物の不足</li> <li>6 お酒の飲み過ぎ</li> <li>7 睡眠不足</li> <li>8 牛乳の飲み過ぎ</li> <li>9 緑茶の飲み過ぎ</li> </ol>	ND2010	6.9	1	3	6	0	1	0	1	0	0	3	2	3	1	1	0	1	0	0
生活習慣	健康知識	問65	心筋梗塞または脳卒中の原因として正しいと思うもの全てに○をつけて下さい。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 高血圧</li> <li>2 高コレステロール血症</li> <li>3 糖尿病</li> <li>4 痛風（高尿酸血症）</li> <li>5 肝機能障害（脂肪肝）</li> <li>6 喫煙</li> <li>7 不整脈</li> <li>8 腎障害（蛋白尿）</li> <li>9 貧血</li> <li>10 HDLコレステロール（善玉コレステロール）低値</li> </ol>	ND2010	7.3	2	3	6	0	0	0	1	0	0	3	2	3	1	1	0	1	0	0

大分類	細分類	(新)問い番号	質問	選択肢	平均スコア	←採択を推奨			←採択を推奨			←採択を推奨			←採択を推奨												
						9	8	7	6	5	4	3	2	1	9	8	7	6	5	4	3	2	1				
生活習慣	健康知識	問66	糖尿病については以下の記述は正しいと思いますか。 1 正しい食生活と運動習慣には、糖尿病予防の効果がある 2 糖尿病は成人の失明の原因となる 3 糖尿病は腎臓病の原因となる 4 糖尿病の人は歯が治りにくい	1 正しい 2 間違っている 3 わからない	5.8	9	8	7	6	5	4	3	2	1	9	8	7	6	5	4	3	2	1				
						ND2010	1	3	3	0	1	1	2	0	1	3	2	1	2	1	1	1	0	0			
						ND2010	1	はい	2	いいえ	5	2	3	0	0	1	0	0	1	5	1	2	1	1	0	0	1
						ND2010	1	あった 2 なかった 3 わからない	6.7	3	2	3	1	1	1	0	0	1	4	0	4	1	1	0	0	0	1
生活習慣	健康知識	問67	れまでに脳卒中(脳梗塞、脳出血、脳塞栓、脳出血、くも膜下出血)を発症したことがありませんか。 (問67-1) 「はい」と答えた方におたずねします。 脳卒中を発症した際、片方の手足や顔半分の麻痺、しびれ、突然の言葉のもつれ、突然の激しい頭痛やふらつき等の症状がありましたか。	1 はい 2 なかった 3 わからない	7.7	9	8	7	6	5	4	3	2	1	9	8	7	6	5	4	3	2	1				
						ND2010	1	はい	7	1	3	0	0	0	0	0	0	4	2	3	0	1	0	0	0	1	
						ND2010	1	はい	6.8	5	1	4	0	0	0	0	0	1	3	2	3	1	1	0	0	0	1
						ND2010	1	はい	8.3	6	3	3	0	0	0	0	0	2	4	2	1	0	1	0	0	0	1
生活習慣	ADL	問68	(問68-1) 他人の手助けを必要とする項目全てに○をつけて下さい。	1 はい 2 いいえ	6.8	9	8	7	6	5	4	3	2	1	9	8	7	6	5	4	3	2	1				
						ND2010	1	はい	7.7	7	1	3	0	0	0	0	0	4	2	3	0	1	0	0	0	1	
						ND2010	1	はい	6.8	5	1	4	0	0	0	0	0	1	3	2	3	1	1	0	0	0	1
						ND2010	1	はい	8.3	6	3	3	0	0	0	0	0	2	4	2	1	0	1	0	0	0	1
						ND2010	1	はい	8.3	6	3	3	0	0	0	0	0	2	4	2	1	0	1	0	0	0	1
						ND2010	1	はい	8.3	6	3	3	0	0	0	0	0	2	4	2	1	0	1	0	0	0	1
						ND2010	1	はい	8.3	6	3	3	0	0	0	0	0	2	4	2	1	0	1	0	0	0	1
						ND2010	1	はい	8.3	6	3	3	0	0	0	0	0	2	4	2	1	0	1	0	0	0	1
						ND2010	1	はい	8.3	6	3	3	0	0	0	0	0	2	4	2	1	0	1	0	0	0	1
						ND2010	1	はい	8.3	6	3	3	0	0	0	0	0	2	4	2	1	0	1	0	0	0	1
						ND2010	1	はい	8.3	6	3	3	0	0	0	0	0	2	4	2	1	0	1	0	0	0	1
						ND2010	1	はい	8.3	6	3	3	0	0	0	0	0	2	4	2	1	0	1	0	0	0	1







都道府県・保健所設置市・特別区 担当者殿

厚生労働行政推進調査事業費補助金  
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業  
「新旧（1980-2020年）のライフスタイルからみた国民代表集団大規模コホート研究：  
NIPPON DATA80/90/2010/2020（H30-循環器等-指定-002）」  
研究代表者 滋賀医科大学社会医学講座 教授 三浦克之

## 2020年国民健康・栄養調査対象者の追跡研究 NIPPON DATA2020 へのご協力をお願い

平素より厚生労働省指定研究 NIPPON DATA へのご協力をいただき誠にありがとうございます。また、2010年の国民健康・栄養調査において実施した NIPPON DATA2010 ではご協力いただき誠にありがとうございました。全都道府県および該当する全ての保健所設置自治体のご協力を得て実施することができ、全国約3000人の対象者の長期追跡を続けております。その後10年が経過し、この度、下記のように、2020年の国民健康・栄養調査の参加者を対象とした長期追跡研究 NIPPON DATA2020 を厚生労働省指定研究として実施する方向となりました。本研究におきましても貴自治体のご協力を賜りたく、何卒よろしくご協力申し上げます。

### 記

#### 1. 研究目的

健康日本21（第2次）の重要課題である健康格差（地域格差や世代間格差）を是正し、また、わが国の循環器疾患等生活習慣病予防対策を立案するためには、国民の代表集団を長期間追跡するコホート研究を実施し、刻々と変化する日本国民特有のライフスタイルや社会環境における生活習慣病リスク要因を明らかにする必要があります。当研究班はそのために1980/1990年循環器疾患基礎調査および2010年国民健康・栄養調査の対象集団、計2万人超の長期コホート研究 NIPPON DATA80/90/2010 を厚労省指定研究として継続してきました。その成果は健康日本21、標準的な健診・保健指導プログラム、各種学会ガイドライン作成等に活用されています。

2020年（令和2年）国民健康・栄養調査は拡大調査が予定されています。本研究は、同調査の参加者を対象として大規模かつ最新の国民集団の長期コホート研究 NIPPON DATA2020 を開始し、日本国民の新たな生活習慣病リスク要因や健康格差を明らかにし、次期国民健康づくり運動策定における優先的課題に関する提言を行うことを目的としています。

#### 2. 都道府県・保健所設置市・特別区にご協力いただきたい事項

以下の事項へのご協力をお願い致します。

- 国民健康・栄養調査実施会場における本調査の実施スペース確保（2名の研究班調査員による

同意取得および追加質問調査のため)

- 国民健康・栄養調査対象者に対する本調査の実施案内（チラシ事前配布、国民健康・栄養調査説明会の場等における紹介、等）
- 国民健康・栄養調査における残余血液検体の研究班への提供
- 国民健康・栄養調査項目の転記許可（世帯番号・世帯番号・検体番号、身体状況調査票等）（後日、残血清の保存、国民健康・栄養調査結果を突合する際に必要）
- 研究班調査の実施・残血清の供与についての研究班との覚え書き締結
- 各地区担当の研究班メンバー（研究協力者）・委託健診機関との事前打合せ

### 3. 調査方法

本調査では、令和2年国民健康・栄養調査に参加する20歳以上の成人男女を対象として、下記項目の調査を実施します。さらに、対象者の将来の健康状態（循環器疾患等の生活習慣病の発症、死亡）についての追跡調査を開始します。以上の実施のため、国民健康・栄養調査実施に合わせて、調査参加の同意を対象者本人から取得します。

#### (1) 調査対象者

令和2年国民健康・栄養調査に参加する20歳以上の成人男女（各道府県10カ所、東京都15カ所、計475カ所の見込み。1カ所あたりの参加者は20-50人を予測。計1万人前後の同意者を予測。）

#### (2) 調査項目

本調査における追加調査項目は以下の通りです。

- 生活習慣病などの健康状態や生活習慣に関する追加質問調査
- 採尿容器の配付（各自で尿検体を郵送いただく）（ナトリウム、カリウム、蛋白の測定）
- 国民健康・栄養調査項目の転記（世帯番号・世帯番号・検体番号、身体状況調査票等）（後日、残血清の保存、国民健康・栄養調査結果を突合する際に必要）
- 残血清の保存

#### (3) 調査実施について

- 同意の取得や研究班に関わる調査は、研究班が委託する協力健診機関等の調査員が実施します。
- 本調査の調査員が国民健康・栄養調査対象者に対して本調査の目的を説明し、本調査への参加・追跡調査等について書面にて同意を取得します。
- 本調査の調査内容は、参加者の負担を最小限にするため、令和2年国民健康・栄養調査の調査内容と重複しないものとします。そのため、国民健康・栄養調査で得られる調査データについては、後日研究班より国に目的外使用申請を行って取得し、研究班のデータと結合して解析します。
- 国民健康・栄養調査の残余血清を将来の検査のために研究班で保存します。
- 本調査による検査結果（尿検査など）は、アドバイス等とともに研究班から参加者本人に後日送付します。

### 4. 倫理的配慮

本調査は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守して実施されます。調査参加者に対しては文書による説明と同意取得を行います。研究計画は滋賀医科大学倫理審査委員会にて審査され、承認を得ます。

## 5. 個人情報保護

個人の特定が可能な氏名・生年月日・連絡先等の個人識別情報は、滋賀医科大学内の施設された場所で厳重に管理され、研究終了後は復元不可能な形で破棄されます。全ての電子データは、外部から隔離された滋賀医科大学内のサーバーで厳重に保管されます。

## 6. 費用負担に関する事項

本研究は、厚生労働行政推進調査事業費補助金(指定型)によって実施されます。研究参加者および実施都道府県・保健所設置市の費用負担は発生しません。

## 7. 本研究で得られたデータの自治体における活用等について

本研究で得られたデータについては、研究班の報告書等、集計結果を実施都道府県・保健所設置市に送付し、各自治体における健康づくり施策の計画や評価に活用されるよう配慮します。

## 8. 今後の予定

- 6月 令和2年国民健康・栄養調査・地区の確定  
厚労省における国民健康・栄養調査説明会にて研究班調査内容のご説明
- 7月 各自治体、各調査地区の保健所とのご相談を開始
  - ・調査実施に関する覚え書き締結
  - ・各地区担当の協力研究者、協力健診機関との打合せ
- 10-11月 令和2年国民健康・栄養調査および研究班調査の実施

## 9. お問い合わせ先

NIPPON DATA2020 中央事務局 (NIPPON DATA 研究班事務局内)  
滋賀医科大学アジア疫学研究センター 〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町  
Tel: 077-548-2476 Fax: 077-543-4800 E-mail: nd2020@belle.shiga-med.ac.jp

## 10. 研究班メンバー

### 研究代表者

三浦克之 (滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門・教授)

### 研究分担者

- 大久保孝義 (帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座・教授)
- 岡村智教 (慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学・教授)
- 岡山明 (合同会社生活習慣病予防研究センター・代表)
- 奥田奈賀子 (人間総合科学大学人間科学部健康栄養学科・教授)
- 尾島俊之 (浜松医科大学医学部健康社会医学講座・教授)
- 門田文 (滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門・准教授)
- 喜多義邦 (敦賀市立看護大学看護学部看護学科・教授)
- 西信雄 (国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所国際栄養情報センター・センター長)
- 早川岳人 (立命館大学衣笠総合研究機構地域健康社会学研究センター・教授)
- 宮本恵宏 (国立循環器病研究センター予防健診部・部長)

由田克士（大阪市立大学大学院生活科学研究科食・健康科学講座公衆栄養学・教授）

研究協力者（各地区担当者）

北海道・東北

大西浩文（札幌医科大学医学部公衆衛生学講座 教授）

斎藤重幸（札幌医科大学保健医療学部看護学科基礎臨床医学講座 教授）

坂田清美（岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座 教授）

寶澤篤（東北大学東北メディカル・ジャパン機構予防医学・疫学部門 教授）

野村恭子（秋田大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座 教授）

関東

中村好一（自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門 教授）

荒井裕介（千葉県立保健医療大学健康科学部栄養学科 准教授）

村上義孝（東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野 教授）

杉山大典（慶應義塾大学看護医療学部 教授）

中部

田邊直仁（新潟県立大学人間生活学部・健康栄養学科 教授）

中川秀昭（金沢医科大学総合医学研究所 嘱託教授）

櫻井勝（金沢医科大学医学部衛生学講座 准教授）

山縣然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座 教授）

中村美詠子（浜松医科大学医学部健康社会医学講座 准教授）

八谷寛（藤田医科大学医学部公衆衛生学 教授）

近畿

宮松直美（滋賀医科大学看護学科臨床看護学講座 教授）

上原里程（京都府立医科大学地域保健医療疫学 教授）

岩橋明子（帝塚山大学現代生活学部食物栄養学科 准教授）

高嶋直敬（近畿大学医学部公衆衛生学教室 准教授）

渡邊至（国立循環器病研究センター予防健診部 医長）

東山綾（国立循環器病研究センター予防健診部 医長）

田中英夫（大阪府藤井寺保健所 所長）

藤吉朗（和歌山県立医科大学医学部衛生学講座 教授）

中国・四国

神田秀幸（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野 教授）

久松隆史（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野 准教授）

九州

二宮利治（九州大学大学院医学研究院衛生・公衆衛生学分野 教授）

有馬久富（福岡大学医学部衛生・公衆衛生学教室 教授）

斉藤功（大分大学医学部公衆衛生・疫学講座 教授）

嶽崎俊郎（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科国際島嶼医療学講座 教授）

中村幸志（琉球大学大学院医学研究科衛生学・公衆衛生学講座 教授）

令和2年3月〇日

【依頼先健診機関名称】

【担当者氏名】 様

厚生労働行政推進調査事業費補助金  
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業  
「新田（1980-2020年）のライフスタイルからみた国民代表集団大規模コホート研究：  
NIPPON DATA80/90/2010/2020（H30-循環器等-指定-002）」  
研究代表者 滋賀医科大学社会医学講座 教授 三浦克之

## 2020年国民健康・栄養調査対象者の追跡研究 NIPPON DATA2020 へのご協力をお願い

この度、下記のように、2020年の国民健康・栄養調査の参加者を対象とした長期追跡研究 NIPPON DATA2020 を厚生労働省指定研究として実施する方向となりました。貴機関のご協力をぜひ賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 研究目的

健康日本 21（第2次）の重要課題である健康格差（地域格差や世代間格差）を是正し、また、わが国の循環器疾患等生活習慣病予防対策を立案するためには、国民の代表集団を長期間追跡するコホート研究を実施し、刻々と変化する日本国民特有のライフスタイルや社会環境における生活習慣病リスク要因を明らかにする必要があります。本研究班はそのために1980/1990年循環器疾患基礎調査および2010年国民健康・栄養調査の対象集団、計2万人超の長期コホート研究 NIPPON DATA80/90/2010 を厚労省指定研究として継続してきました。その成果は健康日本 21、標準的な健診・保健指導プログラム、各種学会ガイドライン作成等に活用されています。

2020年（令和2年）国民健康・栄養調査は拡大調査が予定されています。本研究は、同調査の参加者を対象として大規模かつ最新の国民集団の長期コホート研究 NIPPON DATA2020 を開始し、日本国民の新たな生活習慣病リスク要因や健康格差を明らかにし、次期国民健康づくり運動策定における優先的課題に関する提言を行うことを目的としています。

## 2. 令和2年NIPPON DATA2020 調査実施計画（予定）

2020年10-11月に、全国475カ所（予定）（各都道府県で原則10カ所）で実施される国民健康・栄養調査の各調査会場にて、研究班が委託する調査員（協力健診機関スタッフ2名）が研究への参加同意を取得し、追加の調査を実施する。

- ① 予定対象者数： 国民健康・栄養調査の参加者 20歳以上の男女 約1万人
- ② 予定実施内容： (1) 本研究への参加と長期追跡の同意を取得  
(2) 生活習慣等に関する自記式質問調査  
(3) 採尿容器の配布（後日、対象者より研究班に返送頂く）（予定）  
(4) 国民健康・栄養調査項目の転記  
(世帯番号・世帯員番号・検体番号等)  
(後日、残血清の保存、国民健康・栄養調査結果を突合する際に必要)
- ③ 血液・尿検査測定項目：血液検査 クレアチニン等を計画(1年後を予定)  
尿検査 ナトリウム、カリウム、蛋白等

## 3. 貴機関にご協力いただきたい事項

- ① 協力健診機関として本研究へのご参加をお願い致します。  
(研究班報告書に協力健診機関として記載させていただきます)
- ② 各都道府県の調査実施場所（10カ所。東京都のみ15カ所（予定））での、研究班調査実施業務を委託させて頂きたく存じます（研究班事務局（滋賀医科大学）と貴機関との間で委託契約し、研究班から委託料をお支払いします）。  
委託業務：・各調査場所（国民健康・栄養調査実施場所）に2名のスタッフを派遣。  
(10-11月(一日/カ所)。各調査場所の対象者は20-50人を予想)  
・同意の取得、問診の実施、国民健康・栄養調査からの転記、尿容器説明  
・事前に各保健所と調査日・調査場所についての協議(7月～)  
・事前の調査実施方法の研修（地区別研修会出席または教材学習）(8月)  
委託希望額： 1カ所あたり25,000円(交通費含)（10カ所で250,000円）  
(地域の特性に応じてご相談させていただきます)  
(事前に実施する地区別研修会については、別途、お支払いいたします。)

## 4. 今後の予定

- 2-5月 各都道府県の地区担当者（大学等の研究者）が各都道府県および健診機関に協力依頼  
各都道府県の協力健診機関への業務受託依頼
- 6月 令和2年国民健康・栄養調査・地区の確定、協力健診機関との委託契約
- 7月 各自治体（都道府県および保健所設置市）、各調査地区の保健所との相談を開始  
協力健診機関と自治体の打合せ（調査スペースの確保、調査当日の作業流れ、等）
- 8月 協力健診機関の調査員に対して研修を実施
- 10-11月 令和2年国民健康・栄養調査および研究班調査の実施

## 6. お問い合わせ先

NIPPON DATA2020 中央事務局 (NIPPON DATA 研究班事務局内)

滋賀医科大学アジア疫学研究センター 〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

Tel: 077-548-2476 Fax: 077-543-4800 E-mail: nd2020@belle.shiga-med.ac.jp

## 7. 研究班メンバー

### 研究代表者

三浦克之 (滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門・教授)

### 研究分担者

大久保孝義 (帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座・教授)

岡村智教 (慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学・教授)

岡山明 (合同会社生活習慣病予防研究センター・代表)

奥田奈賀子 (人間総合科学大学人間科学部健康栄養学科・教授)

尾島俊之 (浜松医科大学医学部健康社会医学講座・教授)

門田文 (滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門・准教授)

喜多義邦 (敦賀市立看護大学看護学部看護学科・教授)

西信雄 (国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所国際栄養情報センター・センター長)

早川岳人 (立命館大学衣笠総合研究機構地域健康社会学研究センター・教授)

宮本恵宏 (国立循環器病研究センター予防健診部・部長)

由田克士 (大阪市立大学大学院生活科学研究科食・健康科学講座公衆栄養学・教授)

### 研究協力者 (各地区担当者)

#### 北海道・東北

大西浩文 (札幌医科大学医学部公衆衛生学講座 教授)

斎藤重幸 (札幌医科大学保健医療学部看護学科基礎臨床医学講座 教授)

坂田清美 (岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座 教授)

寶澤篤 (東北大学東北メディカル・カンパニ機構予防医学・疫学部門 教授)

野村恭子 (秋田大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座 教授)

#### 関東

中村好一 (自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門 教授)

荒井裕介 (千葉県立保健医療大学健康科学部栄養学科 准教授)

村上義孝 (東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野 教授)

杉山大典 (慶應義塾大学看護医療学部 教授)

#### 中部

田邊直仁 (新潟県立大学人間生活学部・健康栄養学科 教授)

中川秀昭 (金沢医科大学総合医学研究所 嘱託教授)

櫻井勝 (金沢医科大学医学部衛生学講座 准教授)

山縣然太朗（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座 教授）

中村美詠子（浜松医科大学医学部健康社会医学講座 准教授）

八谷寛（藤田医科大学医学部公衆衛生学 教授）

#### 近畿

宮松直美（滋賀医科大学看護学科臨床看護学講座 教授）

上原里程（京都府立医科大学地域保健医療疫学 教授）

岩橋明子（帝塚山大学現代生活学部食物栄養学科 准教授）

高嶋直敬（近畿大学医学部公衆衛生学教室 准教授）

渡邊至（国立循環器病研究センター予防健診部 医長）

東山綾（国立循環器病研究センター予防健診部 医長）

田中英夫（大阪府藤井寺保健所 所長）

藤吉朗（和歌山県立医科大学医学部衛生学講座 教授）

#### 中国・四国

神田秀幸（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野 教授）

久松隆史（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野 准教授）

#### 九州

二宮利治（九州大学大学院医学研究院衛生・公衆衛生学分野 教授）

有馬久富（福岡大学医学部衛生・公衆衛生学教室 教授）

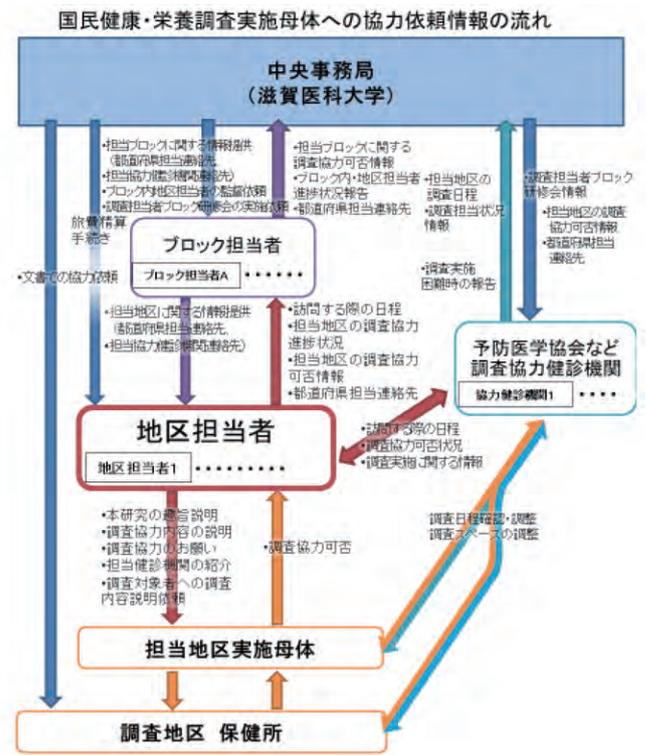
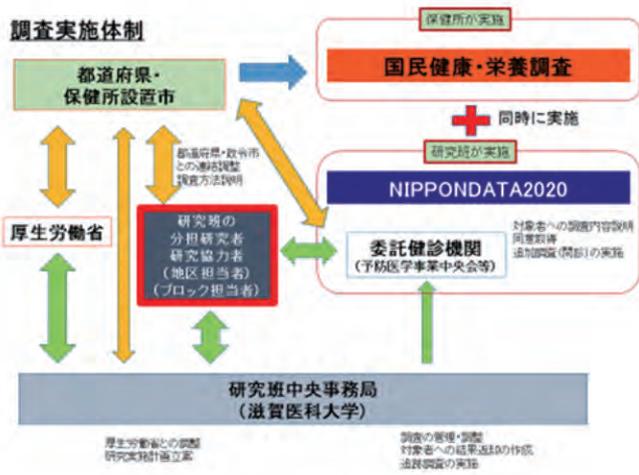
斉藤功（大分大学医学部公衆衛生・疫学講座 教授）

嶽崎俊郎（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科国際島嶼医療学講座 教授）

中村幸志（琉球大学大学院医学研究科衛生学・公衆衛生学講座 教授）

(資料 4)

全国調査実施体制の構築



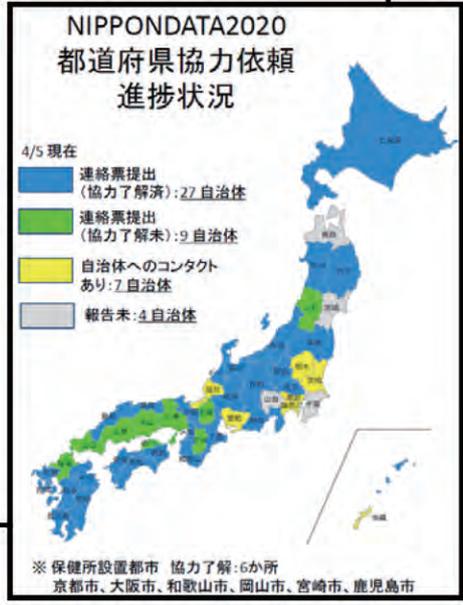
進捗状況管理データベースの構築

依頼日	受信日	電話連絡済み	訪問済み	協力了解	返事待ち	訪問拒否	協力拒否	予定日
2020/3/13	2020/3/13	はい						
2020/3/13	2020/3/13	はい						
2020/3/13	2020/4/4	はい						

→ 各方面との調整や協力依頼の進捗状況を一元管理

(各自治体から調査実施協力の内諾を得た)

交渉経過リスト		実施母体		ブロック担当者	報告日	電話	訪問	訪問	協力	返事	覚書	覚書相手	健診機関の情報は自治体へ	予防医学事業中央支部名 その他の健診機関名
		地区担当者	依頼日	連絡先	予定日	予定日	予定日	予定日	予定日	予定日	予定日	予定日		
岐阜県	尾島 俊之	2020/3/4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7月以降	岐阜県 知事	※支部なし ○一般財団法人総合保健センター			
	中村 美詠子	2020/3/2												
① 原中推定食塩摂取量を個人にお返しするという説明をした際に「その結果を乗に頂けないか」というご依頼あり。 ② 国調の日程：保健所が決めた日に調査員が来て下さるのかをどこの県も大変気にされていました。 中央支部がない一過に国民健康・栄養調査の血液検査を委託したことがある検査機関：(一財)総合保健センター(美濃加茂市西町7-169)を教えてください														
静岡県	尾島 俊之	2020/3/4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7月以降	静岡県 知事				
	中村 美詠子	2020/3/4												
愛知県	尾島 俊之	2020/3/23	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
	八谷 寛	2020/3/23												
基本的に10年前と同様に実施できる感。具体的な話までは進んでいない。(尾島先生からのメールより作成：門田)														
三重県	尾島 俊之	2020/3/4	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7月以降	医療保健部長				
	中村 美詠子	2020/3/3												
① 原中推定食塩摂取量を個人にお返しするという説明をした際に「その結果を乗に頂けないか」というご依頼あり。 ② 国調の日程：保健所が決めた日に調査員が来て下さるのかをどこの県も大変気にされていました。														
滋賀県	三浦 克之	2020/3/31	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
	宮松直美	2020/3/30							2020/4/7					
担当者の4月異動なし (宮松先生からのメールより作成：門田)														



(各健診機関から調査実施協力の内諾を得た)

都道府県	支部	担当者	役職	TEL	E-mail	協力了解	協力拒否
岩手県	公益財団法人若手県予防医学協会		事業推進部 次長	019-638-7188	naogiri.org	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
宮城県	一般財団法人宮城県予防医学協会					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
福島県	公益財団法人福島県保健衛生協会		健康支援課 主任	024-539-7853		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
茨城県	公益財団法人茨城県総合保健協会		経営企画部 主事	029-241-1011	ibasouken.or.jp	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
栃木県	公益財団法人栃木県保健衛生事業団					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
群馬県	公益財団法人群馬県健康づくり財団		総務部 総務課 主事	027-269-7811	gunma-hf.jp	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
埼玉県	公益財団法人埼玉県健康づくり事業団					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
千葉県	公益財団法人千葉県保健予防財団		調査研究部 部長	043-246-8605	kenko-chiba.or.jp	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
東京都	公益財団法人東京都予防医学協会		健康増進部 課長補佐	03-3269-2171	tbougaku-tokyo.jp	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
神奈川県	公益財団法人神奈川県予防医学協会		健康支援課 主任	025-267-6323	kan-sc.or.jp	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
新潟県	公益財団法人新潟県保健衛生センター					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
山梨県	公益財団法人山梨県健康管理事業団					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
長野県	一般財団法人長野県公衆衛生協会					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
石川県	一般財団法人石川県予防医学協会					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
福井県	公益財団法人福井県予防医学協会					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
静岡県	公益財団法人静岡県予防医学協会					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
愛知県	一般財団法人公衆保健協会					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
三重県	公益財団法人三重県健康管理事業センター					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
京都府	一般財団法人京都予防医学センター					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
兵庫県	公益財団法人兵庫県予防医学協会					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
大阪府	医療法人 橘甲会 (大阪予防医学健診センター)					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
鳥取県	公益財団法人鳥取県保健事業団					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
徳島県	公益財団法人徳島県環境保健公社					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
広島県	一般財団法人広島県環境保健協会					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
山口県	公益財団法人山口県予防保健協会					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
香川県	公益財団法人香川県予防医学協会					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
愛媛県	公益財団法人愛媛県総合保健協会					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
高知県	公益財団法人高知県総合保健協会					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
福岡県	公益財団法人福岡県すこやか健康事業団					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
長崎県	公益財団法人長崎県健康事業団					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
熊本県	一般財団法人熊本県健康管理協会					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
宮崎県	公益財団法人宮崎県健康づくり協会					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
鹿児島県	公益財団法人鹿児島県民総合保健センター					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
沖縄県	一般財団法人沖縄県健康づくり財団					<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

健診機関への協力依頼

実施母体: 徳島県

都道府県: 徳島県

市区町村: 門田 文

地区担当者: 門田 文

報告日: 2020/03/25

依頼日: 2020/03/19

健診機関名: 公益財団法人としま未来健康づくり機構

協力了解:  はい  いいえ

協力拒否:  はい  いいえ

健診機関担当者所属: 公益財団法人としま未来健康づくり財団

健診機関担当者氏名: 門田 文

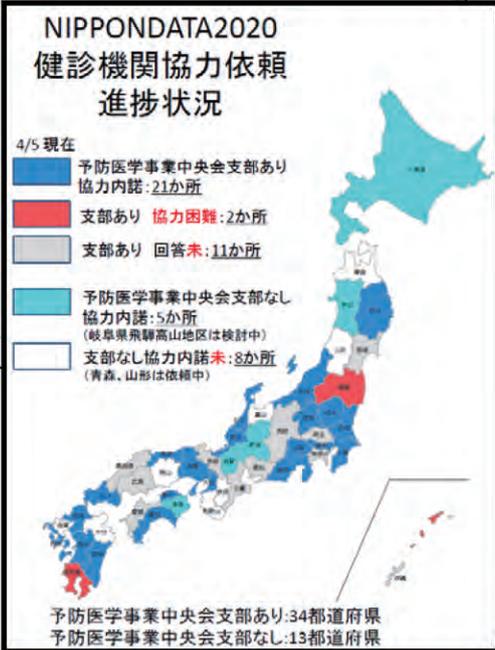
健診機関担当者TEL: 088-820-2000

健診機関担当者メール: mendo@nifty.com

委託料\_基本額:  はい  いいえ

委託料\_基本額以外:  はい  いいえ

地区担当者コメント:



ベースライン調査業務委託先

調査業務（本研究の趣旨説明、同意取得、問診、尿検査説明等）

機関名	住所	電話番号
公益社団法人北海道労働保健管理協会	〒003-0024 札幌市白石区本郷通3丁目南2-13	011-862-5088
公益財団法人岩手県予防医学協会	〒020-8585 岩手県盛岡市北飯岡4850	019-638-7185
公益財団法人茨城県総合健診協会	〒310-8501 茨城県水戸市笠原町489-5	029-241-0011
公益財団法人栃木県保健衛生事業団	〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1	028-623-8181
公益財団法人群馬県健康づくり財団	〒371-0005 群馬県前橋市堀之下町16-1	027-269-7811
公益財団法人ちば県民保健予防財	〒261-0002 千葉県千葉市美浜区新港32-14	043-246-0350
公益財団法人東京都予防医学協会	〒162-8402 東京都新宿区市ヶ谷砂土原町1-2 保健会館	03-3269-1121
公益財団法人新潟県保健衛生センター	〒951-8680 新潟県新潟市中央区白山浦2-180-5	025-267-8191
公益財団法人山梨県健康管理事業団	〒400-0034 山梨県甲府市宝1-4-16	055-225-2800
一般財団法人石川県予防医学協会	〒920-0365 石川県金沢市神野町東115	076-249-7222
公益財団法人福井県予防医学協会	〒918-8238 福井県福井市和田2-1006	0776-23-4810
一般財団法人総合保健センター(岐阜県)	〒505-0046 岐阜県美濃加茂市西町7丁目169	0574-25-5324
公益財団法人静岡県予防医学協会	〒426-0053 静岡県藤枝市善左衛門2-11-5	054-636-6461
公益財団法人三重県健康管理事業センター	〒514-0062 三重県津市観音寺町446-30	059-228-4502
公益財団法人兵庫県予防医学協	〒657-0846 兵庫県神戸市灘区岩屋北町1-8-1	078-855-2701
医療法人橘甲会(大阪予防医学健診センター)	〒540-0013 大阪府大阪市中央区内久宝寺町3-4-1	06-6943-1306
公益財団法人鳥取県保健事業団	〒680-0845 鳥取県鳥取市富安2-94-4	0857-23-4841
公益財団法人山口県予防保健協会	〒753-0814 山口県山口市吉敷下東3-1-1	083-933-0008
公益財団法人とくしま未来健康づくり機構	〒770-0042 徳島県徳島市蔵本町1丁目10-3	088-633-2266
公益財団法人香川県予防医学協会	〒761-8071 香川県高松市伏石町2129-2	087-868-5555
公益財団法人高知県総合保健協会	〒780-8513 高知県高知市棧橋通6-7-43	088-831-4800
公益財団法人福岡県すこやか健康事業団	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-1-32	092-722-2511
公益財団法人長崎県健康事業団	〒859-0401 長崎県諫早市多良見町化屋986-3	0957-43-7131
一般財団法人熊本県健康管理協会	〒861-8528 熊本県熊本市東区长嶺南2-1-1 日赤熊本健康管理センター内	096-382-9045
公益財団法人宮崎県健康づくり協会	〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島1-1-2	0985-38-5512

## 研究班メンバー

### 研究代表者

三浦克之（滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門・教授）

### 研究分担者

大久保孝義（帝京大学医学部衛生学公衆衛生学講座・教授）  
岡村智教（慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学・教授）  
岡山明（合同会社生活習慣病予防研究センター・代表）  
奥田奈賀子（人間総合科学大学人間科学部健康栄養学科・教授）  
尾島俊之（浜松医科大学医学部健康社会医学講座・教授）  
門田文（滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門・准教授）  
喜多義邦（敦賀市立看護大学看護学部看護学科・教授）  
西信雄（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所国際栄養情報センター・センター長）  
早川岳人（立命館大学衣笠総合研究機構地域健康社会学研究センター・教授）  
宮本恵宏（国立循環器病研究センター予防健診部・部長）  
由田克士（大阪市立大学大学院生活科学研究科食・健康科学講座公衆栄養学・教授）

### 研究協力者（各地区担当者）

#### 北海道・東北

大西浩文（札幌医科大学医学部公衆衛生学講座 教授）  
斎藤重幸（札幌医科大学保健医療学部看護学科基礎臨床医学講座 教授）  
坂田清美（岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座 教授）  
寶澤篤（東北大学東北メディカル・メガバンク機構予防医学・疫学部門 教授）  
野村恭子（秋田大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座 教授）

#### 関東

中村好一（自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門 教授）  
荒井裕介（千葉県立保健医療大学健康科学部栄養学科 准教授）  
村上義孝（東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野 教授）  
杉山大典（慶應義塾大学看護医療学部 教授）

#### 中部

田邊直仁（新潟県立大学人間生活学部・健康栄養学科 教授）  
中川秀昭（金沢医科大学総合医学研究所 嘱託教授）  
櫻井勝（金沢医科大学医学部衛生学講座 准教授）  
山縣然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座 教授）

中村美詠子（浜松医科大学医学部健康社会医学講座 准教授）

八谷寛（藤田医科大学医学部公衆衛生学 教授）

#### 近畿

宮松直美（滋賀医科大学看護学科臨床看護学講座 教授）

上原里程（京都府立医科大学地域保健医療疫学 教授）

岩橋明子（帝塚山大学現代生活学部食物栄養学科 准教授）

高嶋直敬（近畿大学医学部公衆衛生学教室 准教授）

渡邊至（国立循環器病研究センター予防健診部 医長）

東山綾（国立循環器病研究センター予防健診部 医長）

田中英夫（大阪府藤井寺保健所 所長）

藤吉朗（和歌山県立医科大学医学部衛生学講座 教授）

#### 中国・四国

神田秀幸（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野 教授）

久松隆史（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科公衆衛生学分野 准教授）

#### 九州

二宮利治（九州大学大学院医学研究院衛生・公衆衛生学分野 教授）

有馬久富（福岡大学医学部衛生・公衆衛生学教室 教授）

芥藤功（大分大学医学部公衆衛生・疫学講座 教授）

嶽崎俊郎（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科国際島嶼医療学講座 教授）

中村幸志（琉球大学大学院医学研究科衛生学・公衆衛生学講座 教授）

令和2年6月12日

都道府県・保健所設置市・特別区 担当者殿

厚生労働行政推進調査事業費補助金  
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業  
「新旧（1980-2020年）のライフスタイルからみた国民代表集団大規模コホート研究：  
NIPPON DATA80/90/2010/2020（H30-循環器等-指定-002）」  
研究代表者 滋賀医科大学社会医学講座 教授 三浦克之

## 2020年国民健康・栄養調査対象者の追跡研究 NIPPON DATA2020 中止のご連絡

平素より厚生労働省指定研究 NIPPON DATA へのご協力をいただき誠にありがとうございます。また、今般の新型コロナウイルス感染症の流行にあたり、全国の自治体の皆様におかれましてはその対応のため多忙を極めておられると存じます。多大なご尽力に心より感謝申し上げます。

さて、2020年の国民健康・栄養調査の参加者を対象とした長期追跡研究 NIPPON DATA2020 の実施についてご協力をお願いし、ご相談を進めさせていただいておりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、本年の国民健康・栄養調査は中止するとのご連絡を厚生労働省からいただきました。そのため、同時に実施する NIPPON DATA2020 についても残念ながら中止せざるを得なくなりました。ここに中止のご連絡をさせていただくと共に、これまでのご協力に厚くお礼申し上げます。

来年度の国民健康・栄養調査を拡大調査として実施するか等について厚生労働省で検討中とお聞きしております。NIPPON DATA 研究の来年度実施の可能性についても厚生労働省と引き続き検討したいと考えております。再度ご協力をお願いすることがあるかもしれませんが、その節は何卒よろしく願い申し上げます。

### お問い合わせ先：

NIPPON DATA2020 中央事務局（NIPPON DATA 研究班事務局内）

滋賀医科大学アジア疫学研究センター 〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

Tel: 077-548-2476 Fax: 077-543-4800 E-mail: nd2020@belle.shiga-med.ac.jp

令和2年6月22日

〇〇〇〇〇〇  
〇〇 〇〇 様

厚生労働行政推進調査事業費補助金  
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業  
「新旧（1980-2020年）のライフスタイルからみた国民代表集団大規模コホート研究：  
NIPPON DATA80/90/2010/2020（H30-循環器等-指定-002）」  
研究代表者 滋賀医科大学社会医学講座 教授 三浦克之

## 2020年国民健康・栄養調査対象者の追跡研究 NIPPON DATA2020 中止のご連絡

平素より厚生労働省指定研究 NIPPON DATA へのご協力をいただき誠にありがとうございます。また、今般の新型コロナウイルス感染症の流行にあたり、貴機関におかれましても諸対応にご多忙のことと存じます。

さて、2020年の国民健康・栄養調査の参加者を対象とした長期追跡研究 NIPPON DATA2020 の実施についてご協力をお願いし、ご相談を進めさせていただいておりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、本年の国民健康・栄養調査は中止するとのご連絡を厚生労働省からいただきました。そのため、同時に実施する NIPPON DATA2020 についても残念ながら中止せざるを得なくなりました。ここに中止のご連絡をさせていただくと共に、これまでのご協力に厚くお礼申し上げます。

来年度の国民健康・栄養調査を拡大調査として実施するか等について厚生労働省で検討中とお聞きしております。NIPPON DATA 研究の来年度実施の可能性についても厚生労働省と引き続き検討したいと考えております。再度ご協力をお願いすることがあるかもしれませんが、その節は何卒よろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症との闘いは当分続くものと思います。貴機関の益々のご発展をお祈りすると共に、このパンデミックが早期に終息することをお祈りしております。

### お問い合わせ先：

NIPPON DATA2020 中央事務局（NIPPON DATA 研究班事務局内）

滋賀医科大学アジア疫学研究センター 〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

Tel: 077-548-2476 Fax: 077-543-4800 E-mail: nd2020@belle.shiga-med.ac.jp